



株式会社夢真ホールディングス
YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.

2019年9月期

決算説明資料

～第2四半期～

2019年5月22日版

2019年9月期/
September. 2019
証券コード/
Securities code
2362

CONTENTS

連結決算概要 … P4

セグメント別概要 …P10

2019年9月期業績見通し …P41

株主還元 …P69

ご参考 …P75

TOPIC

1. 連結売上高

35四半期連続 前期比増収

2. 連結営業利益

第2四半期において創業来最高益

3. 建設技術者派遣事業

派遣単価4%上昇 採用も計画超

4. エンジニア派遣事業

売上高+46% 採用も前期比+65%

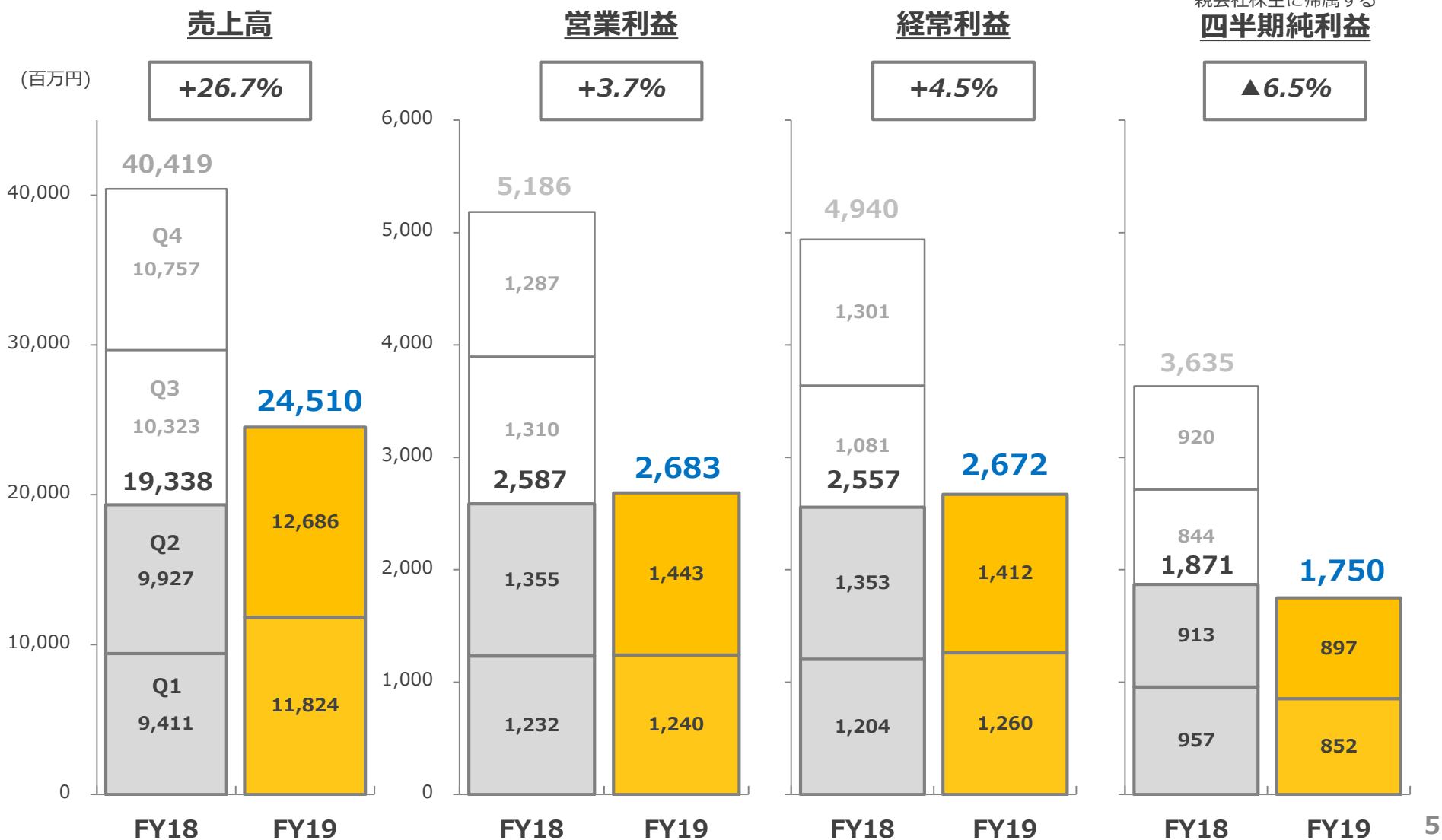
連結決算概要

連結決算概要

連結P/L (1) 四半期毎の状況

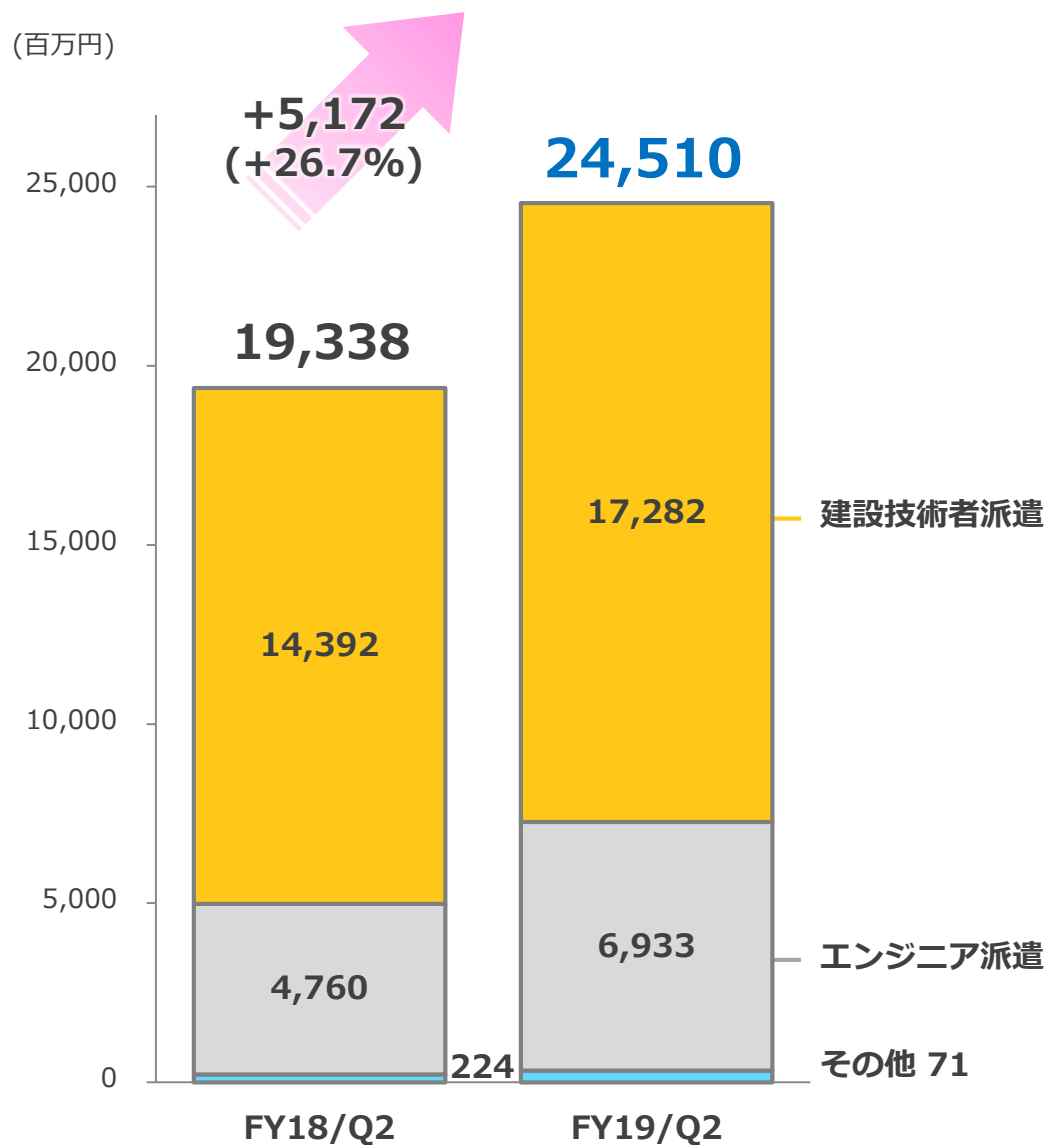
- 売上高は技術者数の積み上げにより35四半期連続増収
- 積極採用による先行投資で増益率は限定的だが入社人数は計画どおり推移

親会社株主に帰属する
四半期純利益



連結P/L (2) 売上高

(百万円)



- 建設技術者、エンジニアともに稼働人数増で27%増収

[主な増減要因]

建設技術者派遣 +2,890百万
(+20.1%)

- 稼働人数の増加、派遣単価の上昇による増収

エンジニア派遣 +2,173百万
(+45.7%)

- 稼働人数の増加、派遣単価の上昇による増収

その他 +106百万
(+47.6%)

- 不採算事業の撤退・縮小による減収

連結P/L (3) 販売費及び一般管理費

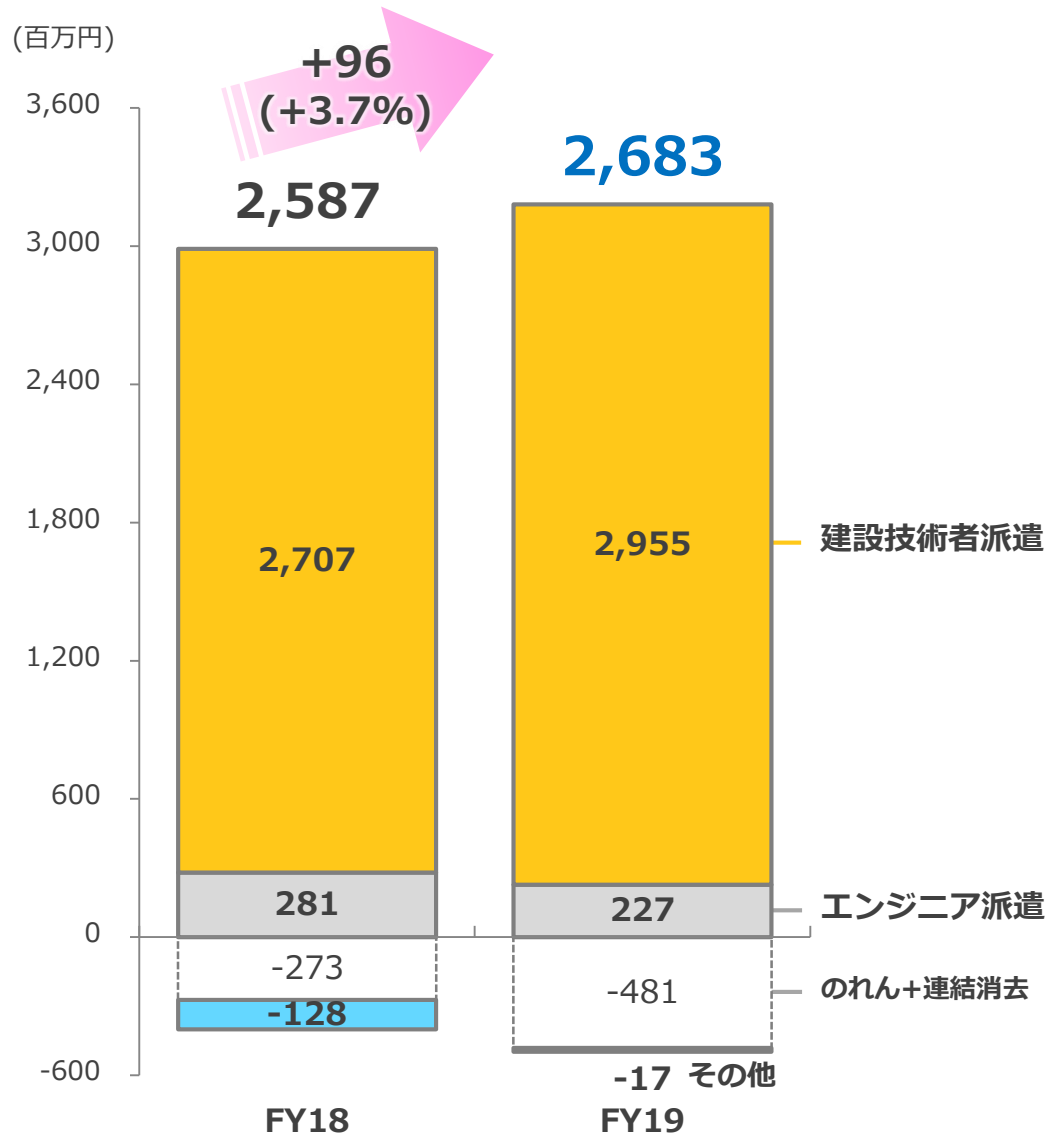
- 積極的な採用計画のとおり連結採用コスト72%増加 → 採用人数も計画どおり推移
- 直近行ったM&A費用計上により業務委託費が一時的に増加

(百万円)

	FY18/Q2	FY19/Q2	増減額	摘要
売上原価	13,388	17,078	+3,690	技術者の増員による増加
売上原価率	69.2%	69.7%	+0.4pt.	
売上総利益	5,950	7,432	+1,481	
売上総利益率	30.8%	30.3%	▲0.4pt.	
販売費及び一般管理費	3,363	4,748	+1,385	
役員報酬	76	81	+5	
人件費	1,582	1,996	+414	営業員および人材管理部門の増員による増加
広告宣伝費	29	27	▲2	
採用費	770	1,325	+555	積極採用による増加
地代家賃	256	290	+34	
業務委託費	141	370	+229	直近のM&A関連費用をQ1に計上
のれん償却額	101	117	+16	
販管費率	17.4%	19.4%	+2.0pt.	

※ 人件費 = 給与及び手当 + 旅費及び交通費 + 賞与 + 法定福利費 + 福利厚生費 + 退職給付費用 (役員含まず)

連結P/L (4) 営業利益



- 積極採用により増益率は限定的だが入社人数は計画どおり推移

[主な増減要因]

建設技術者派遣	+247百万 (+9.1%)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 派遣単価の上昇による増益 	
エンジニア派遣	▲53百万 (▲19.1%)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 積極採用による採用費の増加により減益 	
その他	+110百万 (+86.2%)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 不採算事業の撤退・縮小 	

※ 増減要因には上記の他に「のれん+連結消去 ▲207百万円」が含まれます。

連結 P/L サマリー

(百万円)

	FY18/Q2	FY19/Q2	増減額	増減率
売上高	19,338	24,510	+5,172	26.7%
売上総利益	5,950 (30.8%)	7,432 (30.3%)	+1,481	24.9%
販売費及び一般管理費	3,363 (17.4%)	4,748 (19.4%)	+1,385	41.2%
営業利益	2,587 (13.4%)	2,683 (10.9%)	+96	3.7%
経常利益	2,557 (13.2%)	2,672 (10.9%)	+114	4.5%
当期純利益	1,871 (9.7%)	1,750 (7.1%)	▲121	▲6.5%

※ () = 売上高比率

セグメント別概要

建設技術者派遣事業



1. **29四半期連続 2桁増収**
2. **派遣単価 前年比 4%上昇**
3. **定着率 72%以上で安定**



技術者数

×

稼働率

×

稼働時間

×

派遣単価



売上高

技術者数（1）採用実績



- 年間採用目標 2,800人に対し、進捗率 57.3%と堅調
- 4月度実績 388人と下半期も好調なスタート

(単位：人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月 累計
FY18 採用実績		698		673			1,371
FY19 採用実績		774		829			1,603
増減		+76		+156			+232

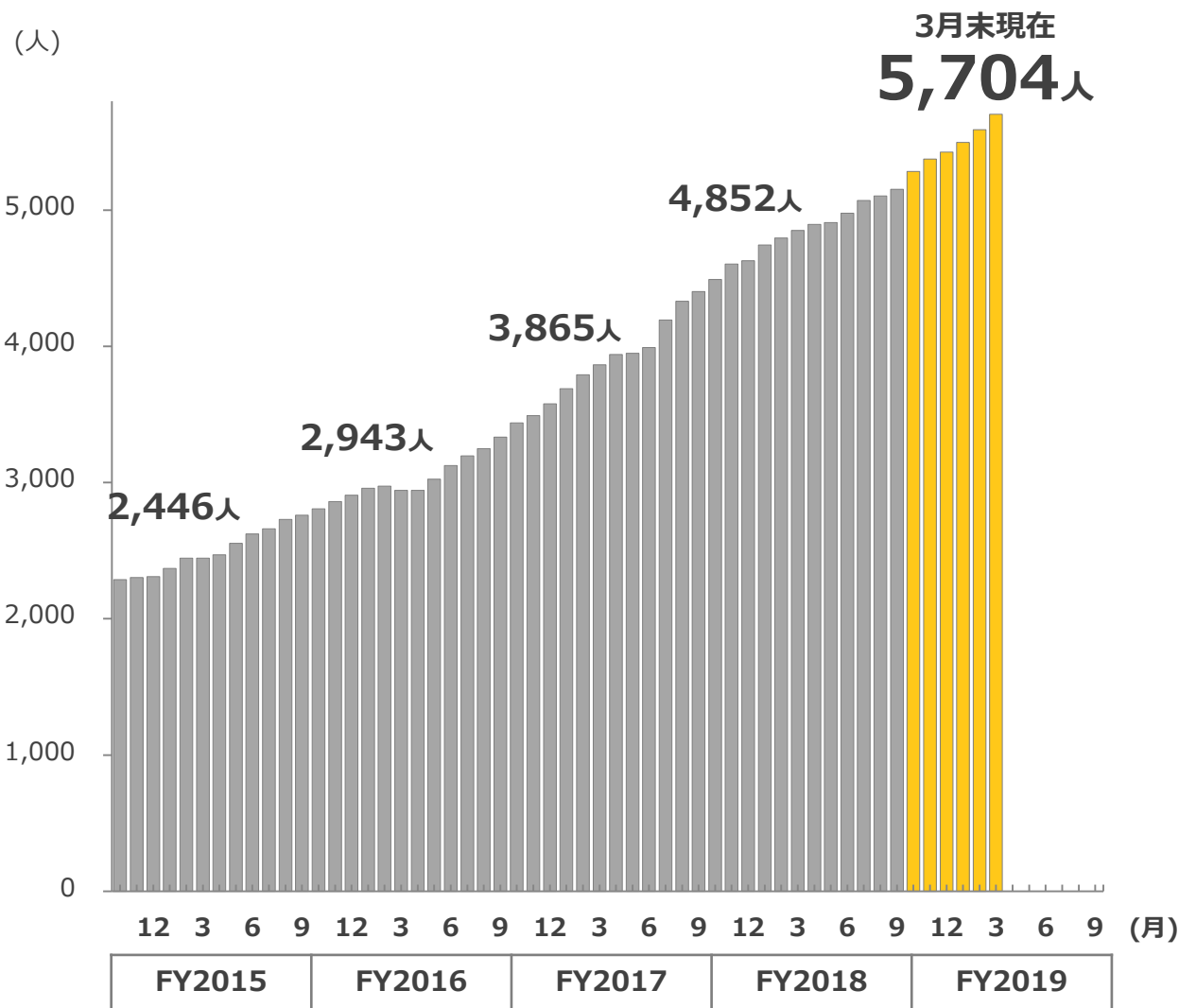
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月 累計	10～9月 累計
FY18 採用実績		716		677			1,393	2,764
FY19 採用実績	388							
増減								

技術者数（2） 在籍人数の推移



建設技術者派遣

- 期末技術者数目標 5,900人に対し順調に積み上げ → 前年9月末から551人増員
- 前年同月末比 852人増加



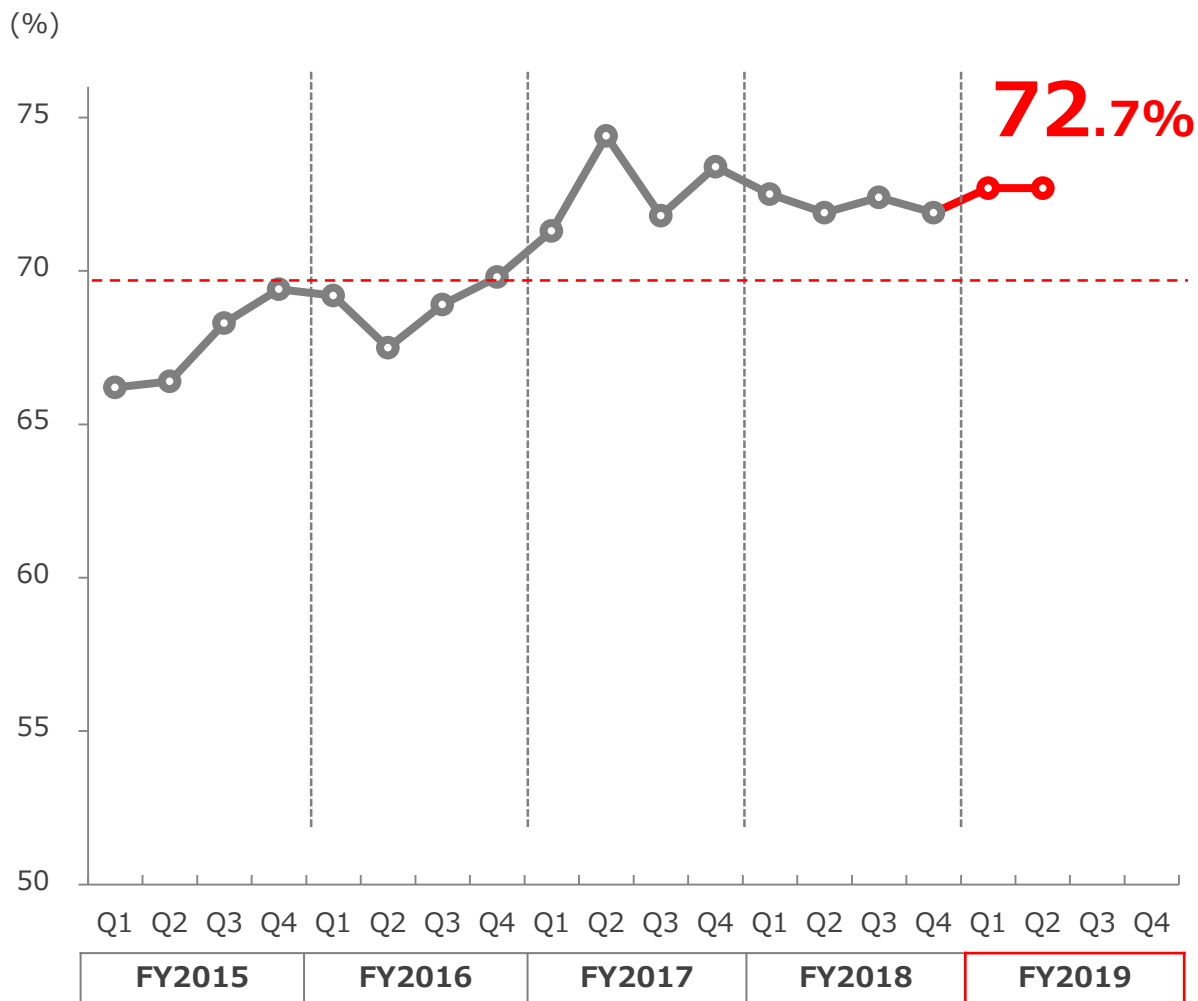
平均技術者数 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY	人数	YoY
FY15/Q2	2,360	YoY
FY16/Q2	2,909	+23.2%
FY17/Q2	3,642	+25.2%
FY18/Q2	4,686	+28.7%
FY19/Q2	5,481	+17.0%

※ 各月末技術者数

技術者数 (3) 定着率の推移



■ 継続的な改善施策で72%以上で安定的に推移



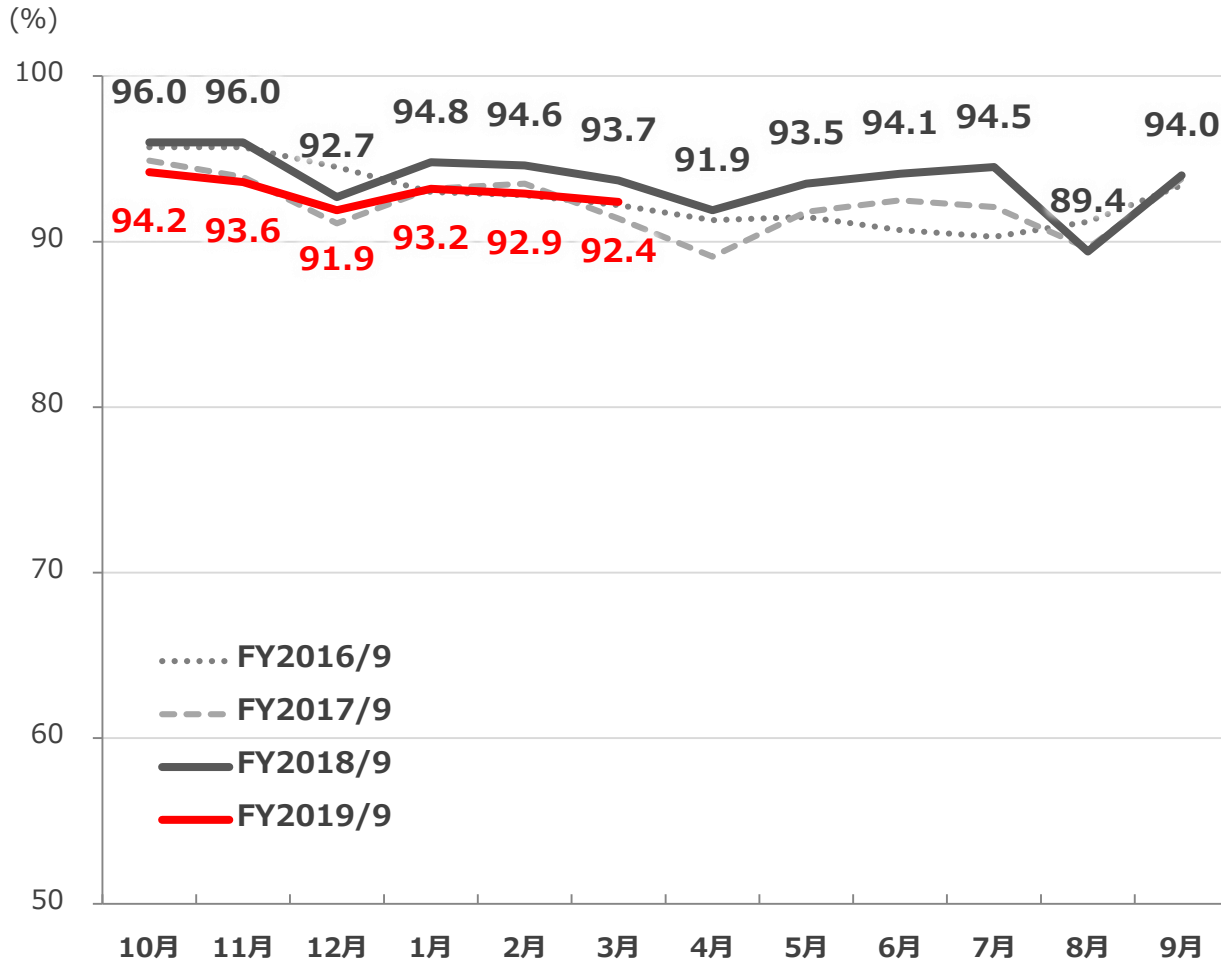
平均定着率 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY15/Q2	66.3%	YoY
FY16/Q2	68.4%	+2.0pt
FY17/Q2	72.9%	+4.5pt
FY18/Q2	72.2%	△0.6pt
FY19/Q2	72.7%	+0.5pt

※ 定着率 = 集計時点在籍人数 ÷ (一年前在籍人数 + 一年間入社人数) × 100

稼働率の推移



■ 採用人数増加により稼働率は低下



平均稼働率
6ヶ月平均 (10~3月)

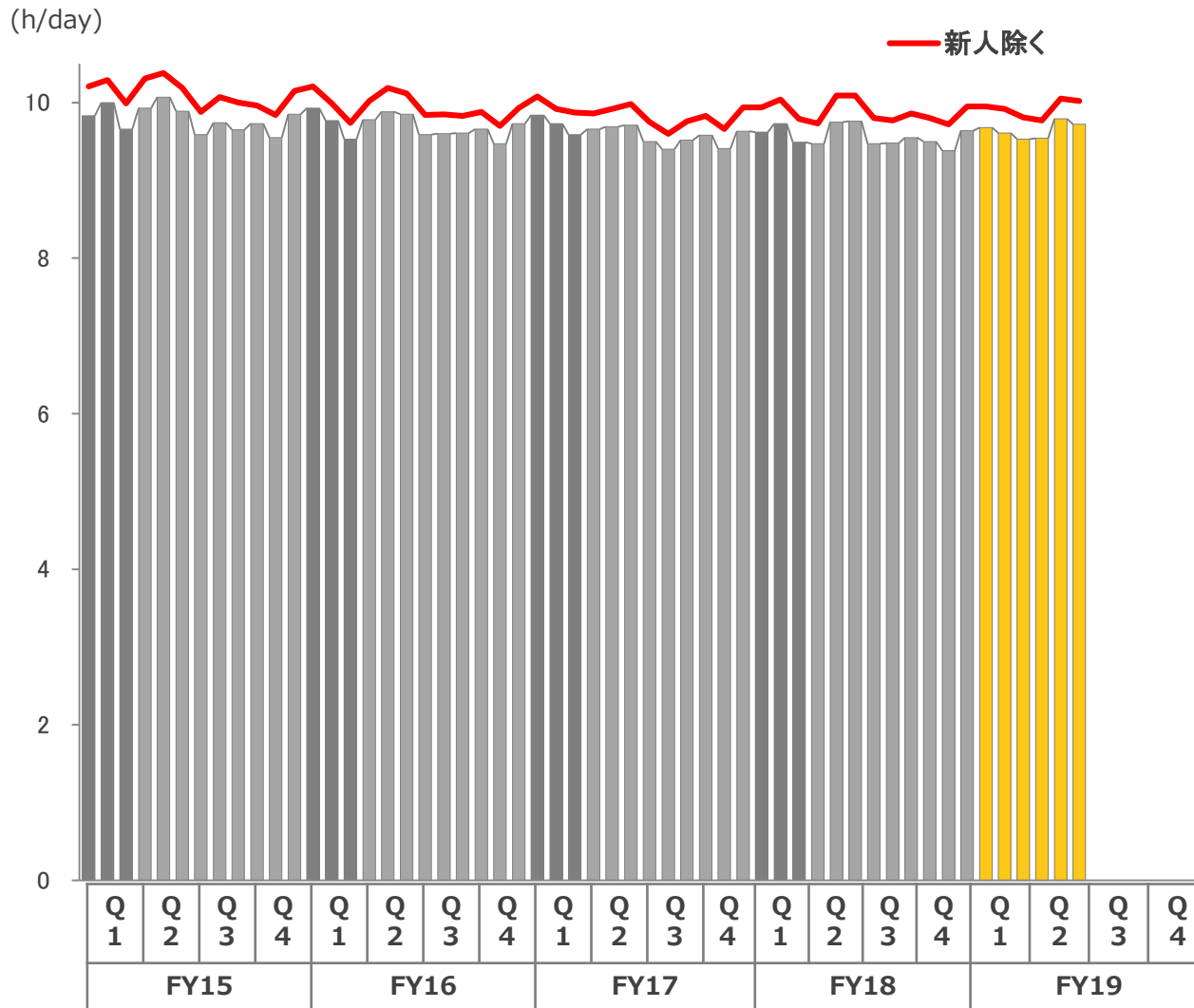
年次	稼働率	YoY
FY16/Q2	94.0%	YoY
FY17/Q2	93.0%	▲1.0pt.
FY18/Q2	94.6%	+1.6pt.
FY19/Q2	93.0%	▲1.6pt.

Q1	Q2	Q3	Q4
----	----	----	----

稼働時間の推移



■ 「働き方改革」での労務管理意識の高まりにより稼働時間は減少傾向



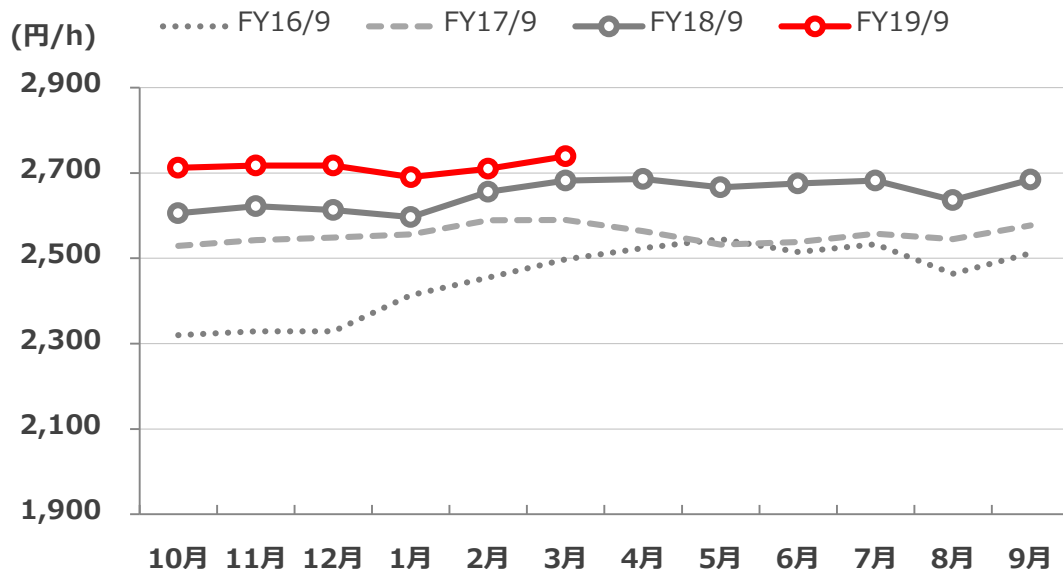
全技術者 平均稼働時間
6ヶ月平均 (10~3月)

Fiscal Year / Quarter	Average Working Hours	YoY Change
FY15/Q2	9.90h	YoY
FY16/Q2	9.79h	▲1.1%
FY17/Q2	9.70h	▲0.9%
FY18/Q2	9.64h	▲0.7%
FY19/Q2	9.65h	+0.1%

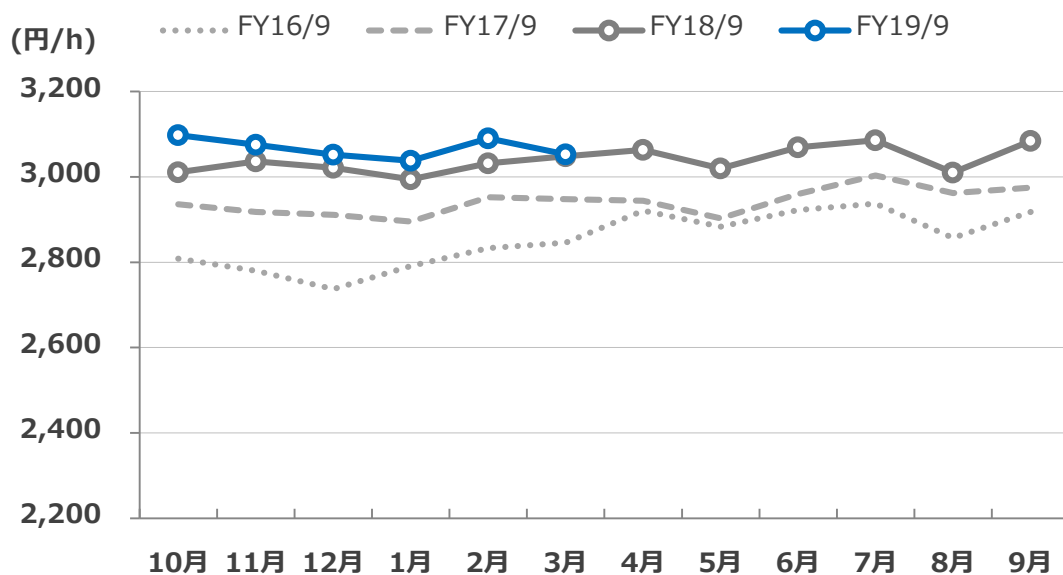
派遣単価 (1) 新人・2年目



建設技術者派遣



新人のみ 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY16/Q2	2,391円	YoY
FY17/Q2	2,559円	+7.0%
FY18/Q2	2,629円	+2.7%
FY19/Q2	2,714円	+3.2%

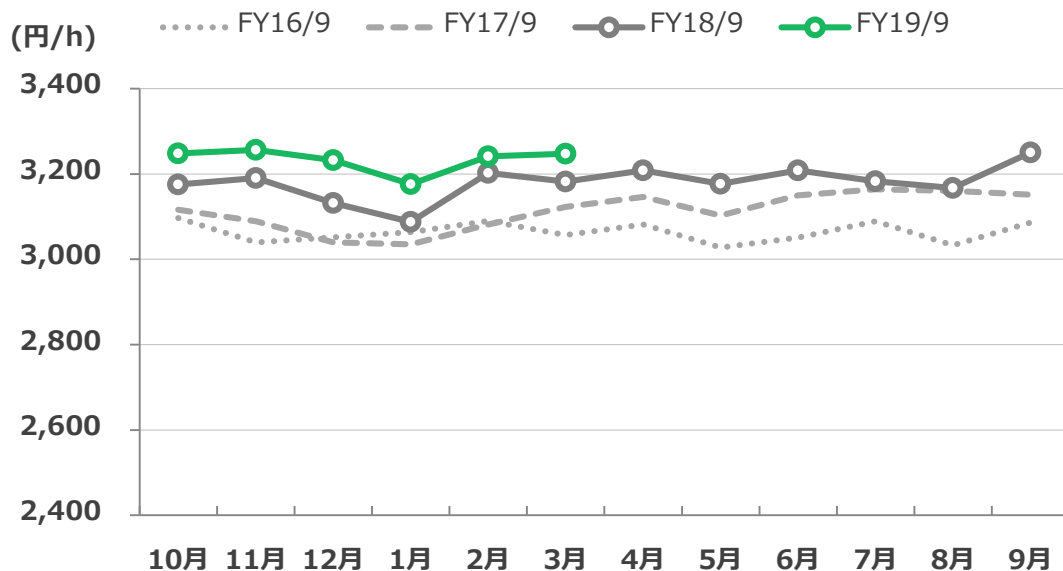


2年目のみ 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY16/Q2	2,799円	YoY
FY17/Q2	2,927円	+4.6%
FY18/Q2	3,024円	+3.3%
FY19/Q2	3,068円	+1.5%

派遣単価 (2) 3年目・4年目以降

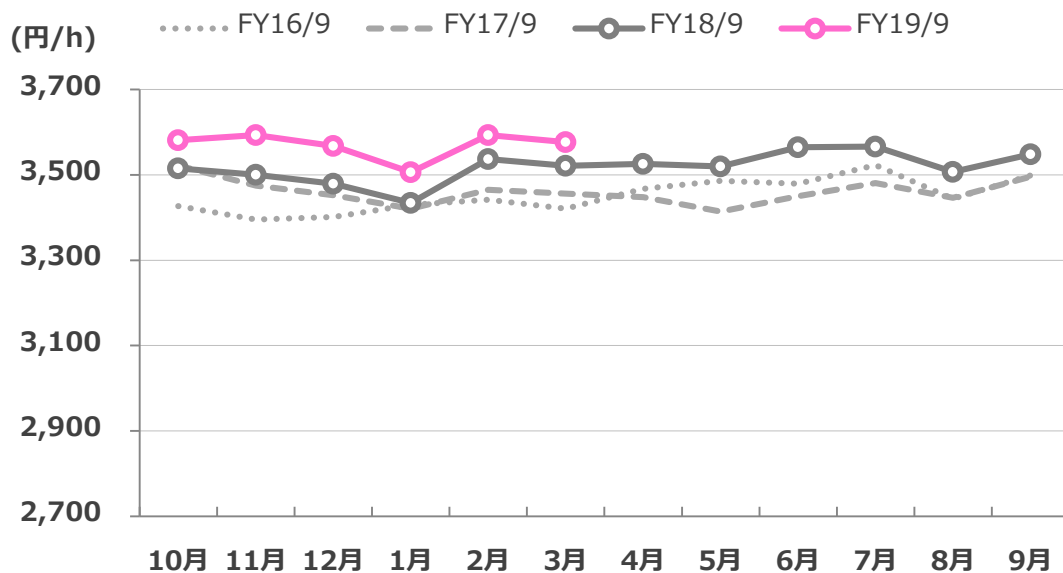


建設技術者派遣



3年目のみ
6ヶ月平均 (10~3月)

FY	単価 (円)	YoY
FY16/Q2	3,067円	YoY
FY17/Q2	3,081円	+0.5%
FY18/Q2	3,162円	+2.6%
FY19/Q2	3,233円	+2.3%



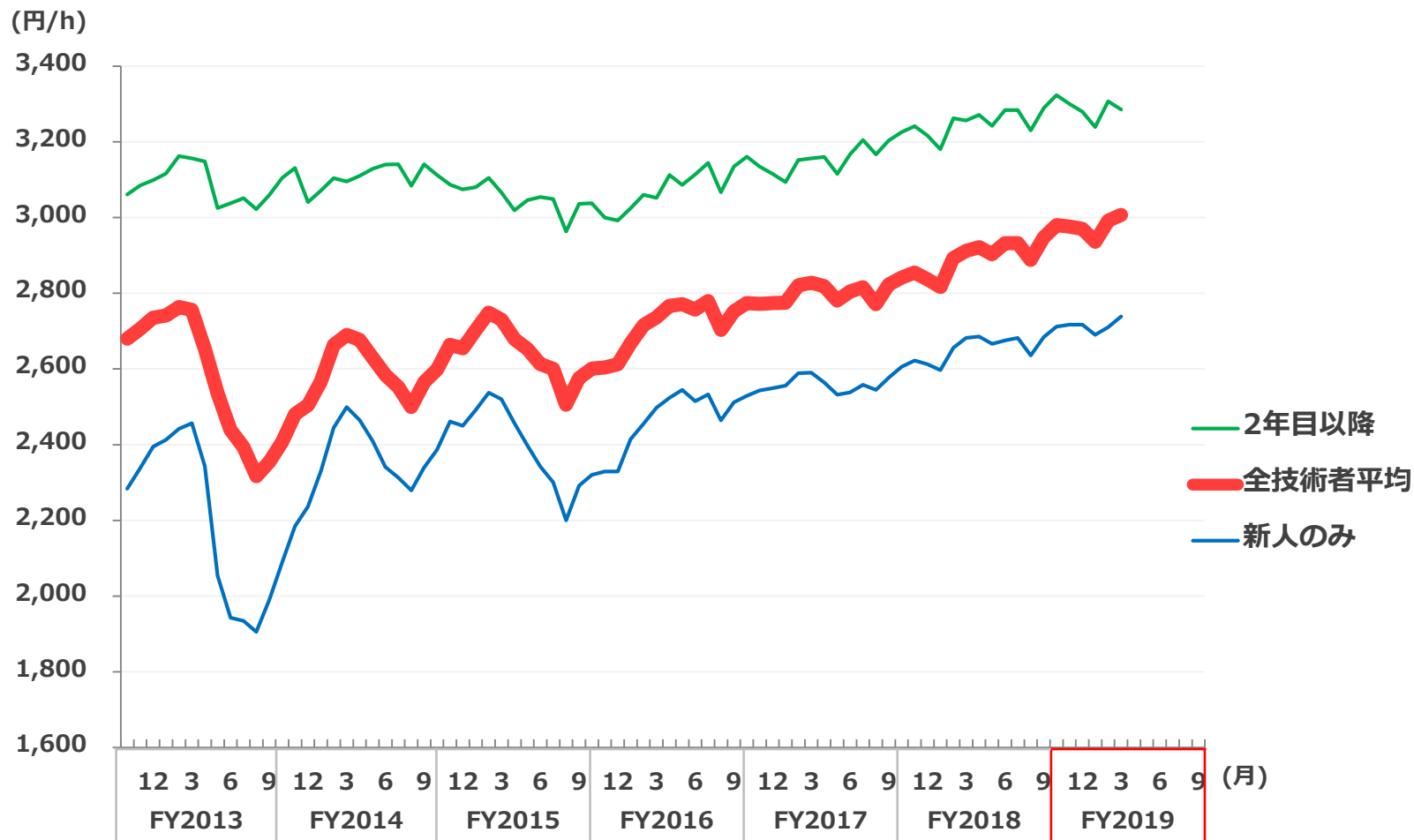
4年目以降
6ヶ月平均 (10~3月)

FY	単価 (円)	YoY
FY16/Q2	3,419円	YoY
FY17/Q2	3,465円	+1.3%
FY18/Q2	3,498円	+0.9%
FY19/Q2	3,570円	+2.1%

派遣単価 (3) 中期推移



- 旺盛な需要を背景にFY2016から4年連続上昇
- 人数比率の高い新人技術者の派遣単価上昇が利益率の向上に寄与



	FY2013		FY2014		FY2015		FY2016		FY2017		FY2018		FY2019	
全社平均 (Q1~2)	2,730円	2,552円	2,683円	2,656円	2,791円	2,859円	2,977円							
	YoY	▲6.5%	+5.1%	▲1.0%	+5.1%	+2.5%	+4.1%							

KPI サマリー



建設技術者派遣

- 建設業界の人手不足を背景に、4年連続で派遣単価上昇
- 採用好調で稼働率は低下

全技術者 6ヶ月平均 (10~3月)

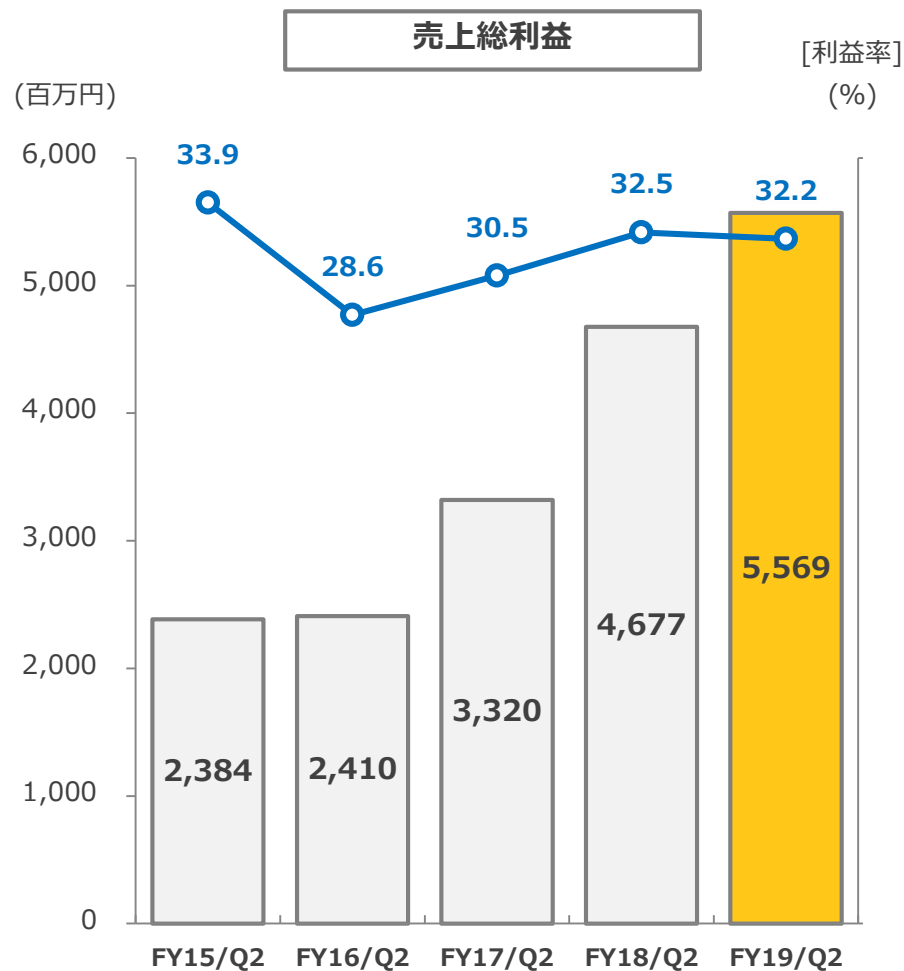
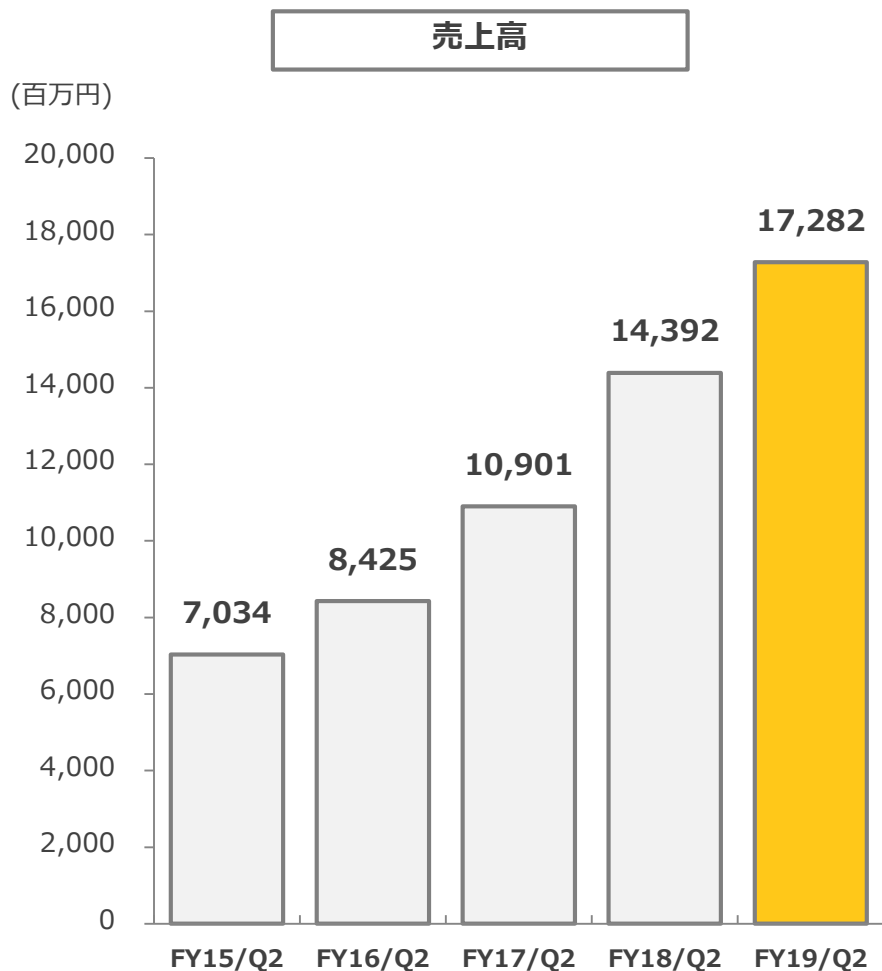
	FY18/Q2	FY19/Q2	増減	増減率
技術者数	4,686人	5,481人	+795人	+17.0%
稼働率	94.6%	93.0%	▲1.6pt.	—
稼働時間	9.64h	9.65h	+0.01h	+0.1%
派遣単価	2,859yen	2,977yen	+118yen	+4.1%

売上高・売上総利益



建設技術者派遣

- 売上高 ⇒ 積極採用+高定着率 → 35四半期連続で前年比増収 +20%
- 売上総利益 ⇒ 派遣単価上昇 +19%



販売費及び一般管理費



建設技術者派遣

- 技術者の増加にともなう営業員および人材管理部門の増員 ⇒ 人件費18%増加
- 若手・未経験メインだった採用に経験者採用をプラス ⇒ 採用コスト65%増加

(百万円)

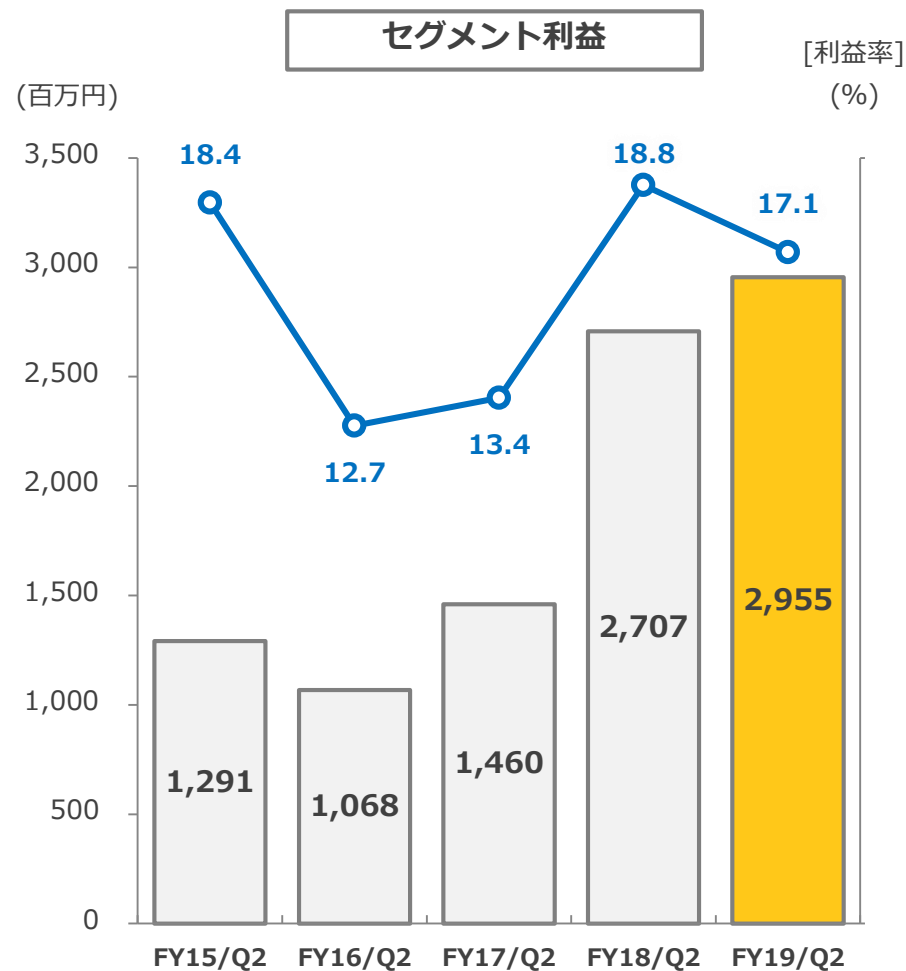
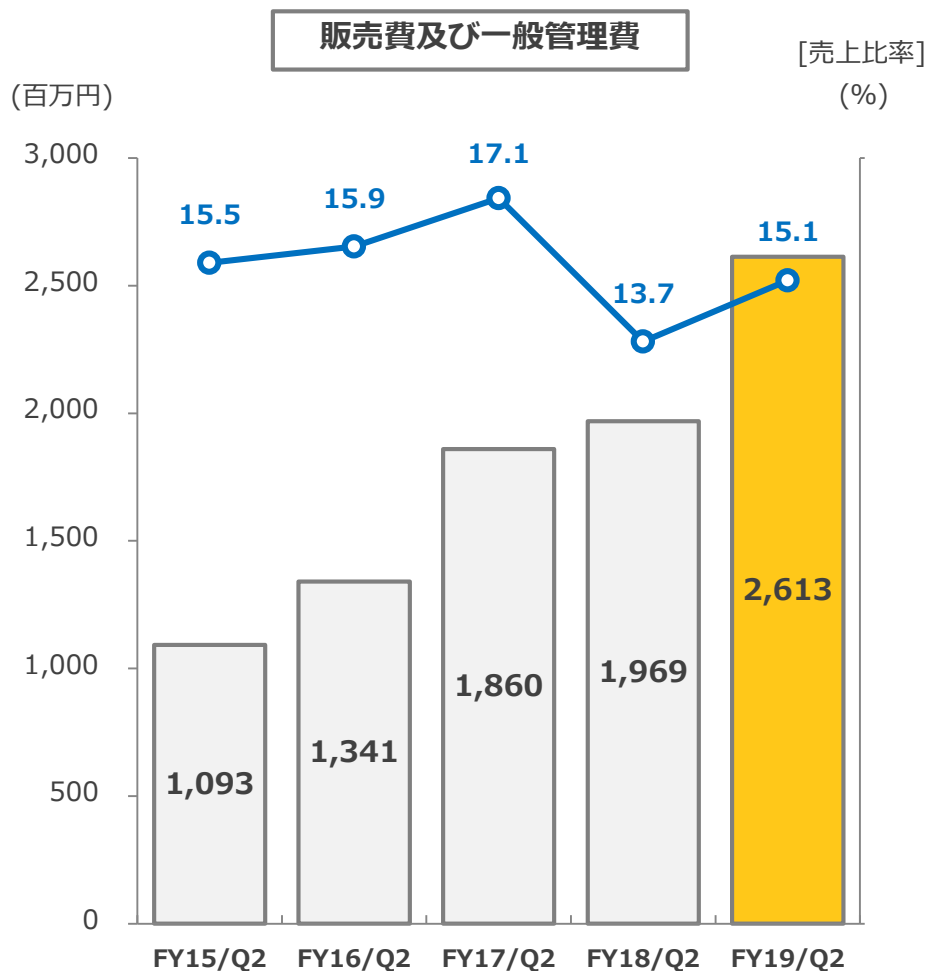
	FY18/Q2	FY19/Q2	増減額	摘要
販売費及び一般管理費	1,969	2,613	+644	
人件費	922	1,093	+171	営業員および人材管理部門の増員による増加
広告宣伝費	13	10	▲3	
採用費	520	863	+342	ベテラン技術者の積極採用開始による増加
業務委託費	79	89	+10	
販管費率	13.7%	15.1%	+1.4pt.	

※ 人件費 = 給与及び手当 + 旅費及び交通費 + 賞与 + 法定福利費 + 福利厚生費 + 退職給付費用 (役員含まず)

販管費・セグメント利益



- 販売費及び一般管理費 ⇒ 採用増でコスト先行も想定通り +32%
- セグメント利益 ⇒ 売上総利益の増加 +9%



エンジニア派遣事業



1. **34四半期連続増収**

2. **採用人数 前年比 65%増**

3. **新人増でも派遣単価上昇**

採用実績



- 年間採用計画1,800人に対し進捗率39.2% ⇒ 下半期にかけ伸長予定
- 採用実績の内 女性：351人（50%）、外国籍：71人（10%）
- 4月度実績260人と下半期は好調なスタート

(単位：人)

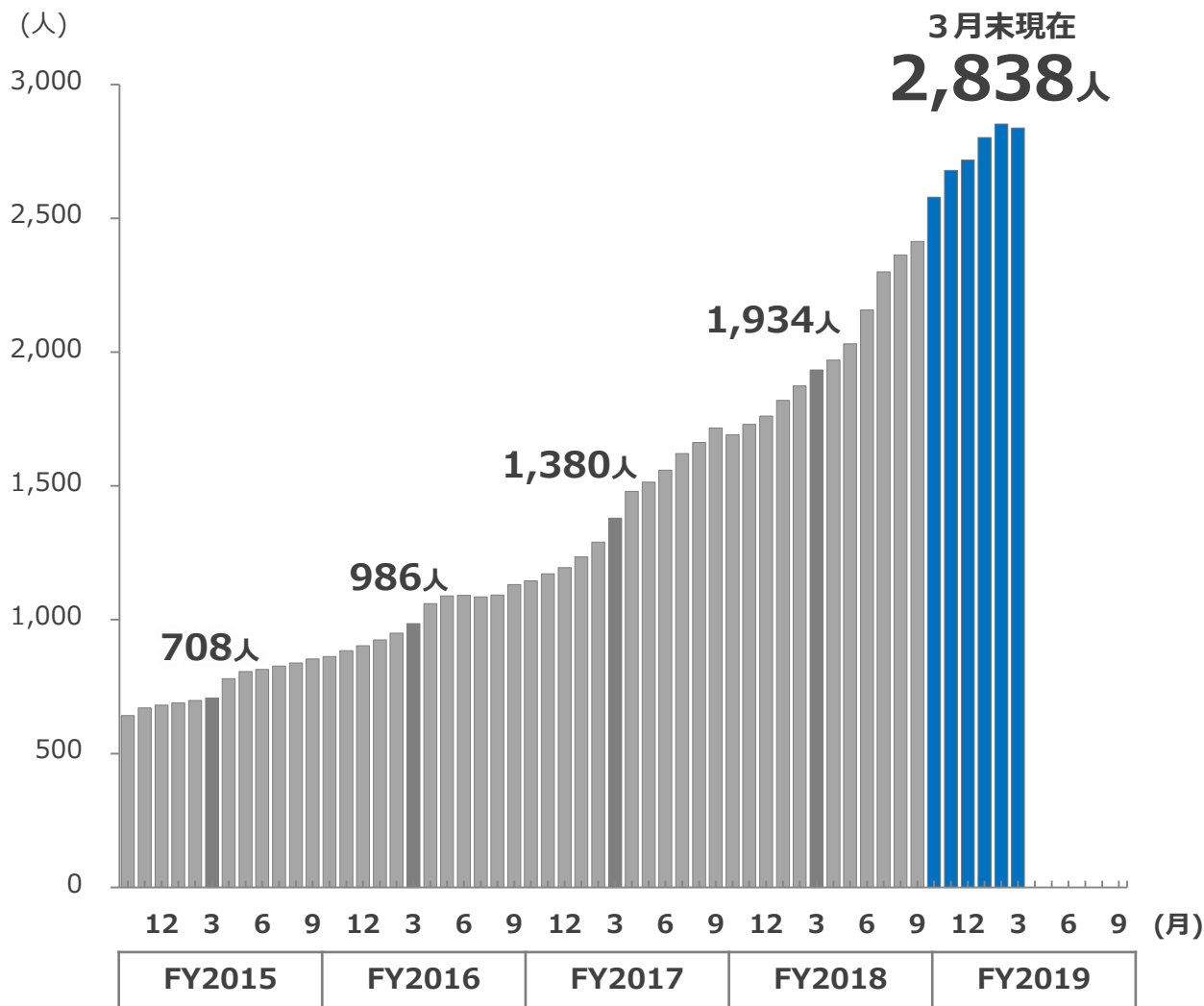
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月 累計
FY18 採用実績		159			270		429
FY19 採用実績		362			344		706
前年比		+203			+74		+277

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月 累計	10～9月 累計
FY18 採用実績		303			386		689	1,118
FY19 採用実績	260							
増減								

在籍エンジニア数の推移



- 期末エンジニア数目標 3,400人に対し、進捗率 83.5%
- 前年同月末比 904人増加 (+46.7%)



平均技術者数
6ヶ月平均 (10~3月)

FY	平均技術者数	YoY
FY15/Q2	682人	
FY16/Q2	919人	+34.7%
FY17/Q2	1,236人	+34.4%
FY18/Q2	1,802人	+45.7%
FY19/Q2	2,745人	+52.3%

※ 各月末技術者数

顧客別の売上高比率



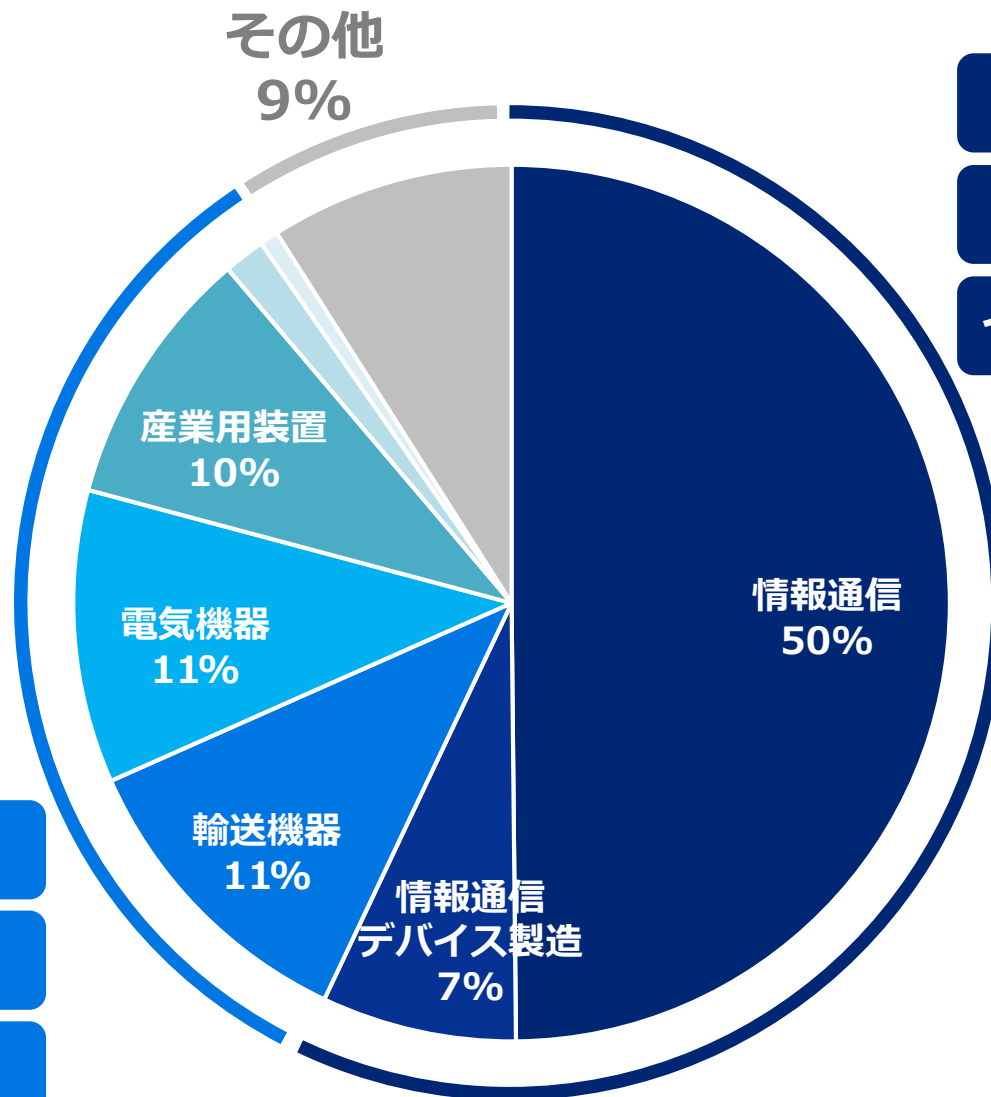
エンジニア派遣

アプリケーション

サポートデスク

インフラエンジニア

情報通信
57%



製造業
34%

品質管理

CADオペレーター

評価・実験

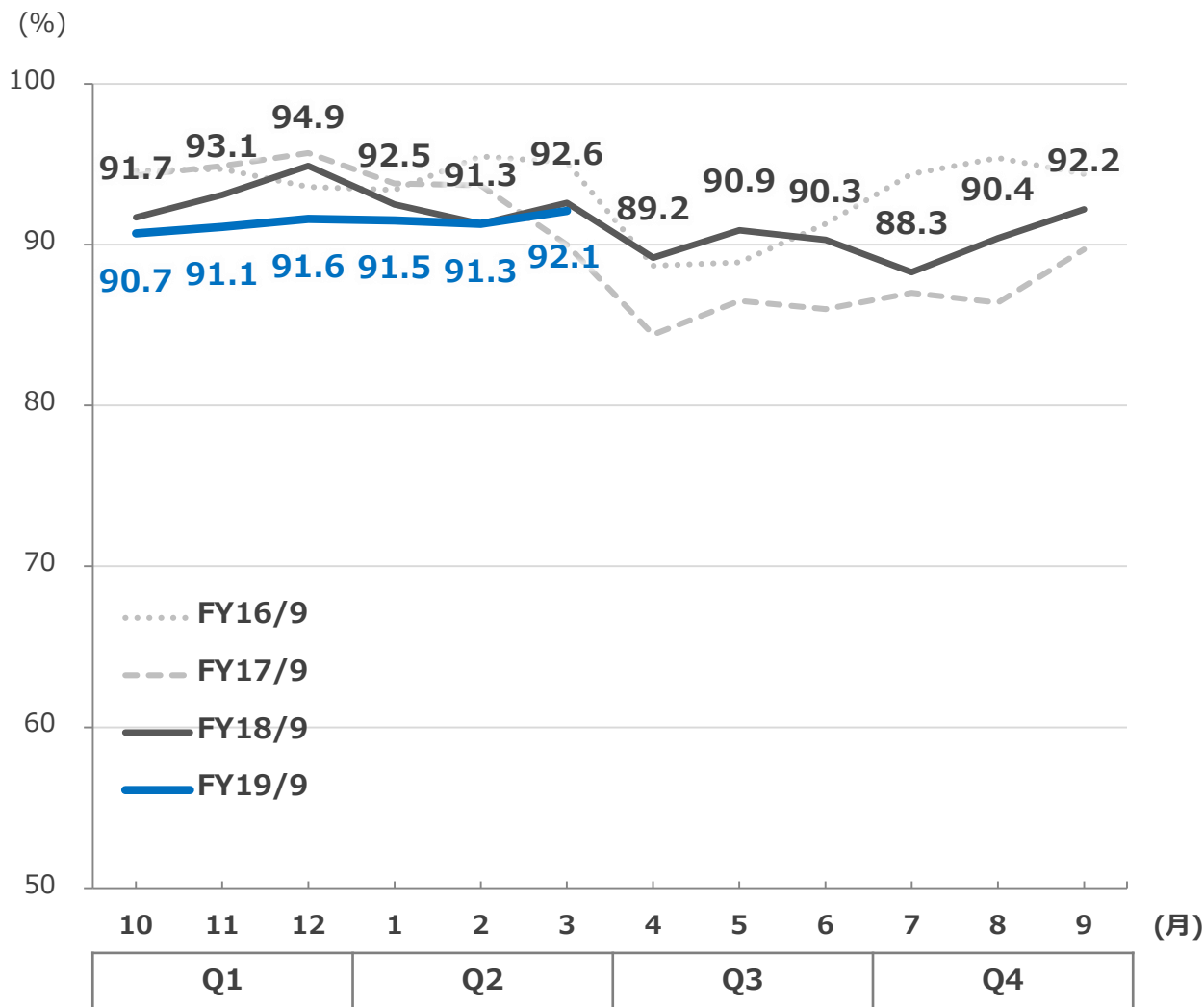
機械設計

※2019年3月末現在

稼働率の推移

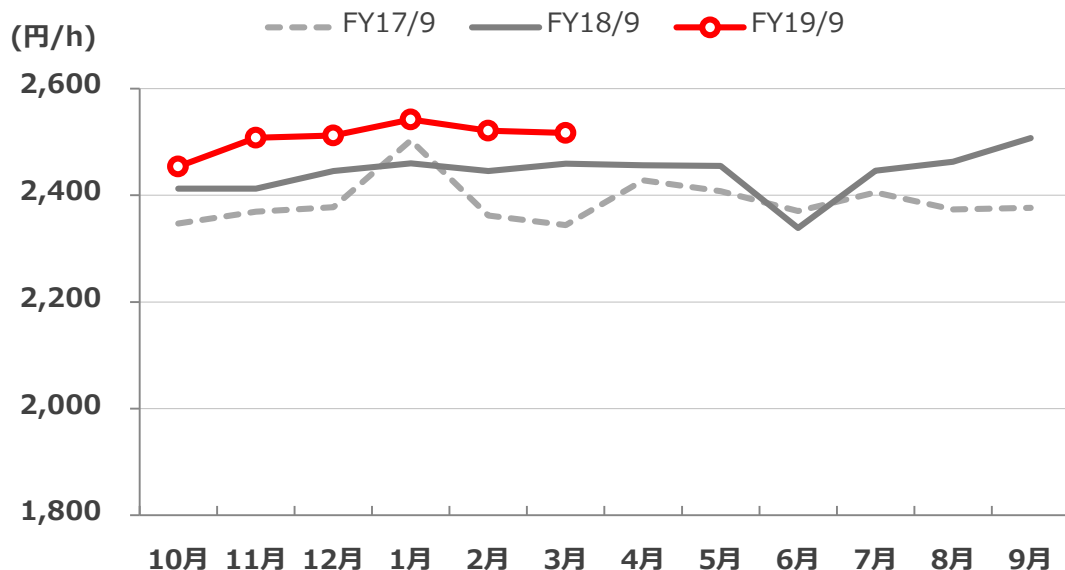


■ 積極投資による採用人数増加により稼働率低下も、Q2にはいり堅調



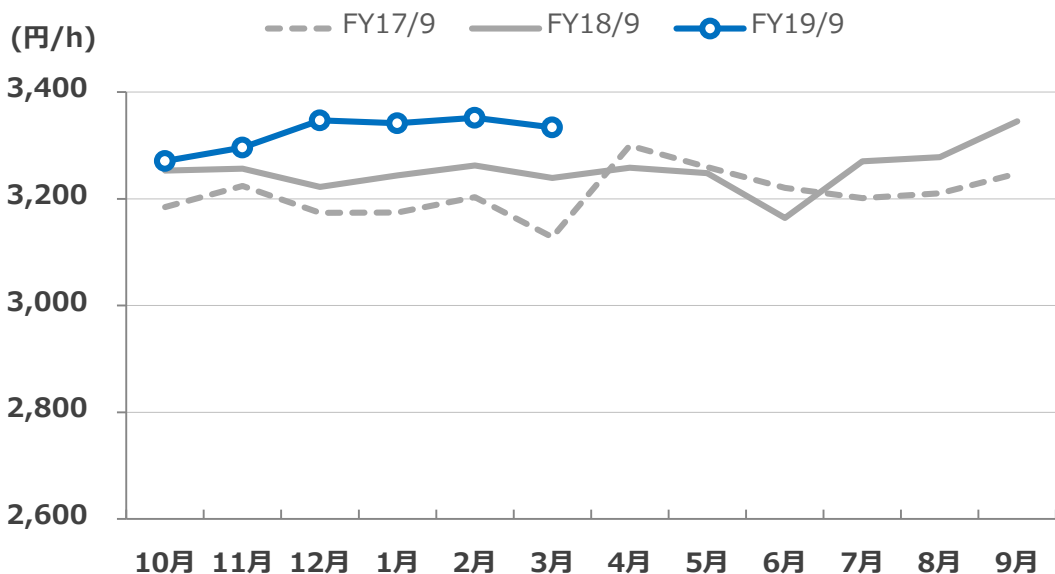
平均稼働率 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY16/Q2	94.5%	YoY
FY17/Q2	93.7%	▲0.7pt.
FY18/Q2	92.7%	▲1.0pt.
FY19/Q2	91.4%	▲1.3pt.

派遣単価 (1)



テクニカルスタッフ 6ヶ月平均 (10~3月)

FY17/Q2	2,384円	YoY
FY18/Q2	2,439円	+2.3%
FY19/Q2	2,509円	+2.8%



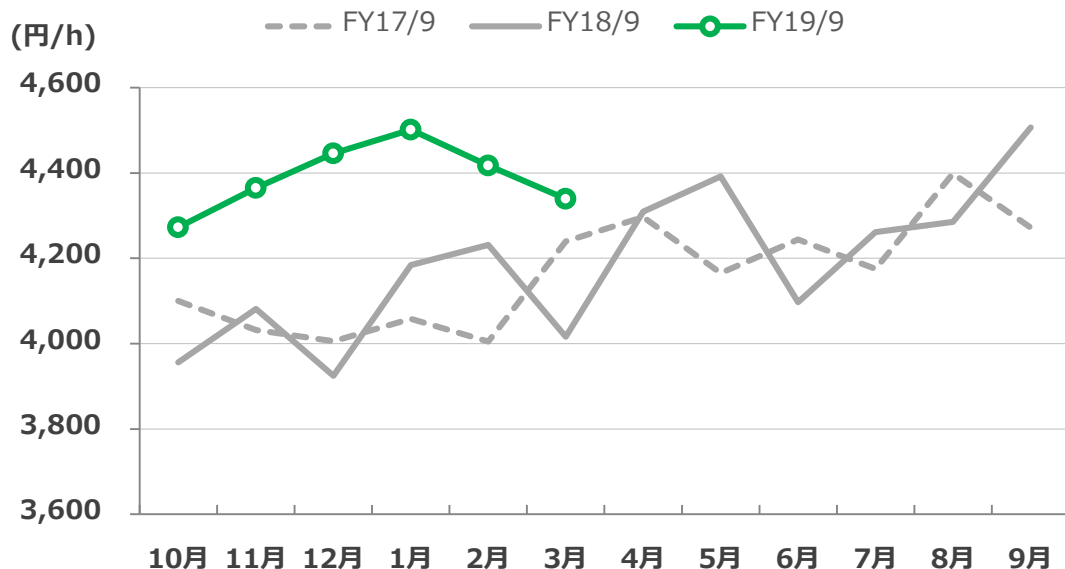
ミドルエンド 6ヶ月平均 (10~3月)

FY17/Q2	3,181円	YoY
FY18/Q2	3,246円	+2.0%
FY19/Q2	3,342円	+2.3%

派遣単価 (2)

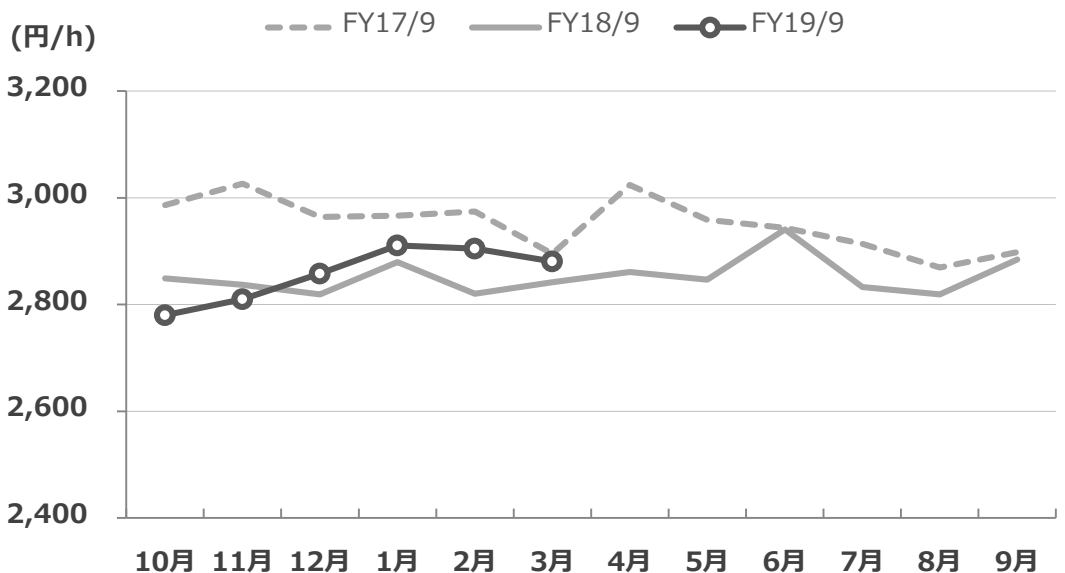


エンジニア派遣



ハイエンド
6ヶ月平均 (10~3月)

FY	派遣単価 (円)	YoY
FY17/Q2	4,073円	YoY
FY18/Q2	4,066円	▲0.1%
FY19/Q2	4,390円	+7.9%



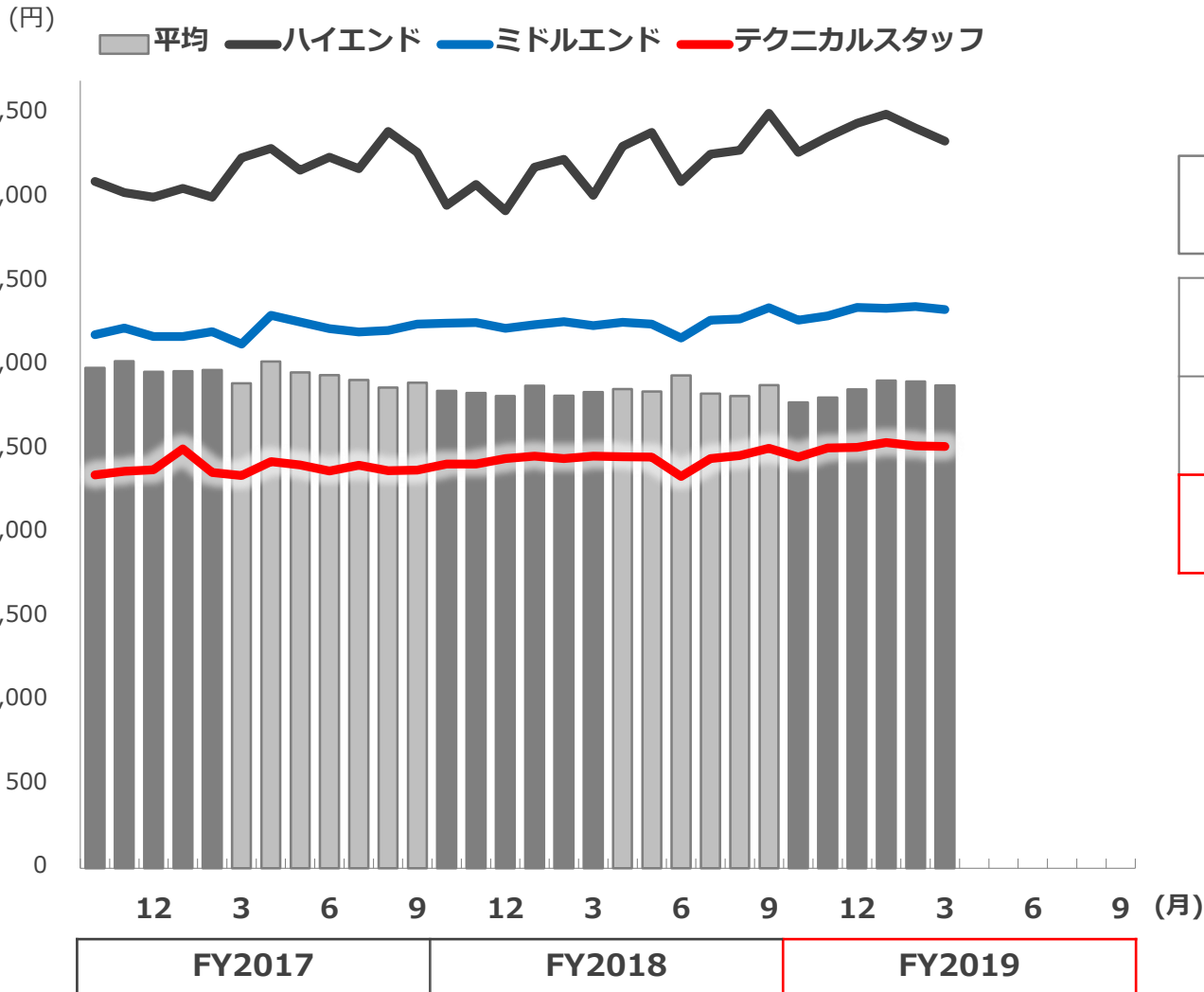
平均派遣単価
6ヶ月平均 (10~3月)

FY	派遣単価 (円)	YoY
FY17/Q2	2,969円	YoY
FY18/Q2	2,841円	▲4.2%
FY19/Q2	2,858円	+0.5%

派遣単価の推移



- テクニカルスタッフ比率増も需要拡大で平均単価上昇
- 特にハイエンドエンジニアは前年比+8%と大幅上昇



平均派遣単価
6ヶ月平均 (10~3月)

FY	単価 (円)	YoY
FY17/Q2	2,969円	
FY18/Q2	2,841円	▲4.2%
FY19/Q2	2,858円	+0.5%

KPI サマリー



エンジニア派遣

- 積極採用によりエンジニア数が52%増と好調に推移
- エンジニア数の増加に伴い稼働率は低下するも、需要拡大により平均派遣単価は上昇

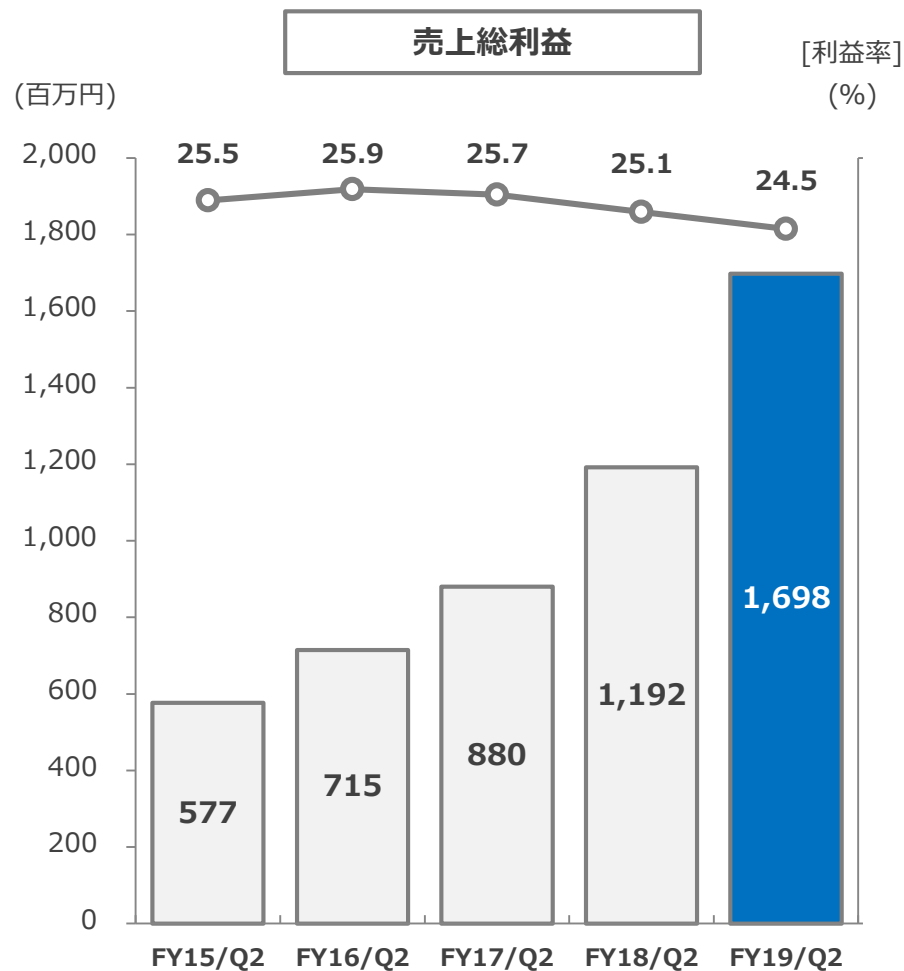
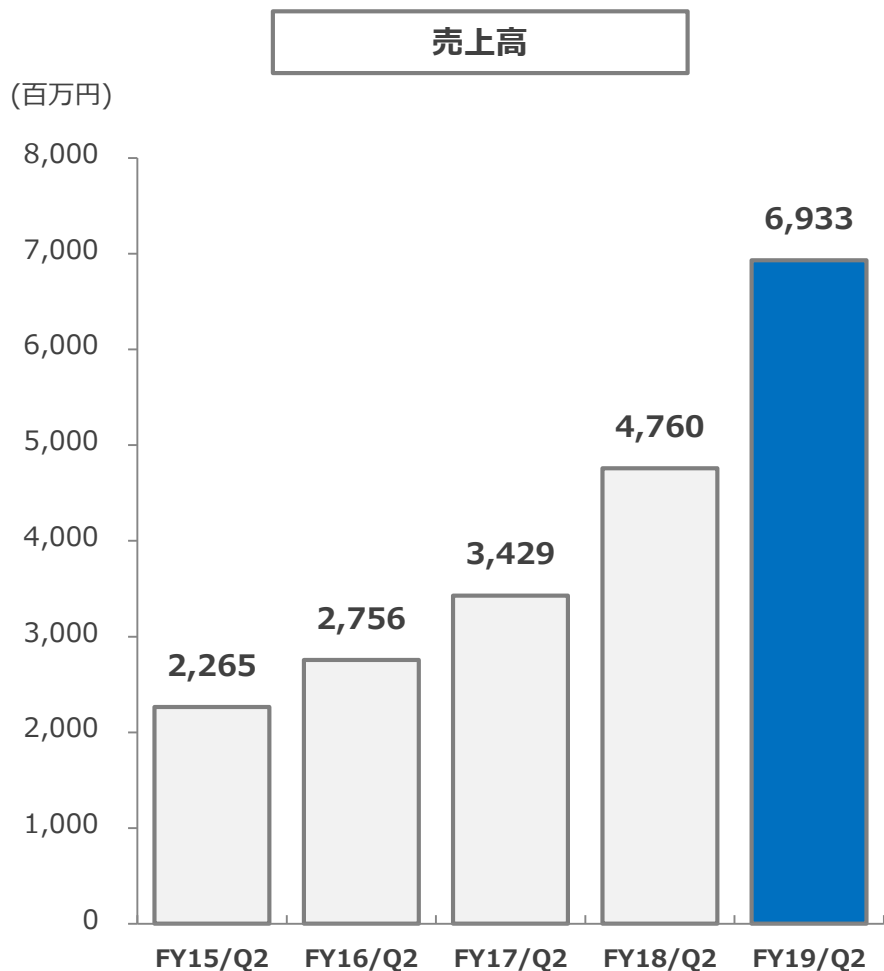
全技術者 6ヶ月平均 (10~3月)

	FY18/Q2	FY19/Q2	増減	増減率
技術者数	1,802人	2,745人	+943人	+52.3%
稼働率	92.7%	91.4%	▲1.3pt.	—
派遣単価	2,841yen	2,858yen	+17yen	+0.5%

売上高・売上総利益



- 売上高 ⇒ 積極採用+高定着率 → 34四半期連続で前年比増収 +45%
- 売上総利益 ⇒ 稼働率低下するも派遣単価上昇 → 前年比増益 +42%



販売費及び一般管理費



エンジニア派遣

- エンジニア派遣セグメントに属する事業会社が2社増加
- エンジニア数増加にともなう管理部門、営業部門の強化により人件費55%増加
- 積極採用のための大規模な先行投資を行い、採用コスト76%増加

(百万円)

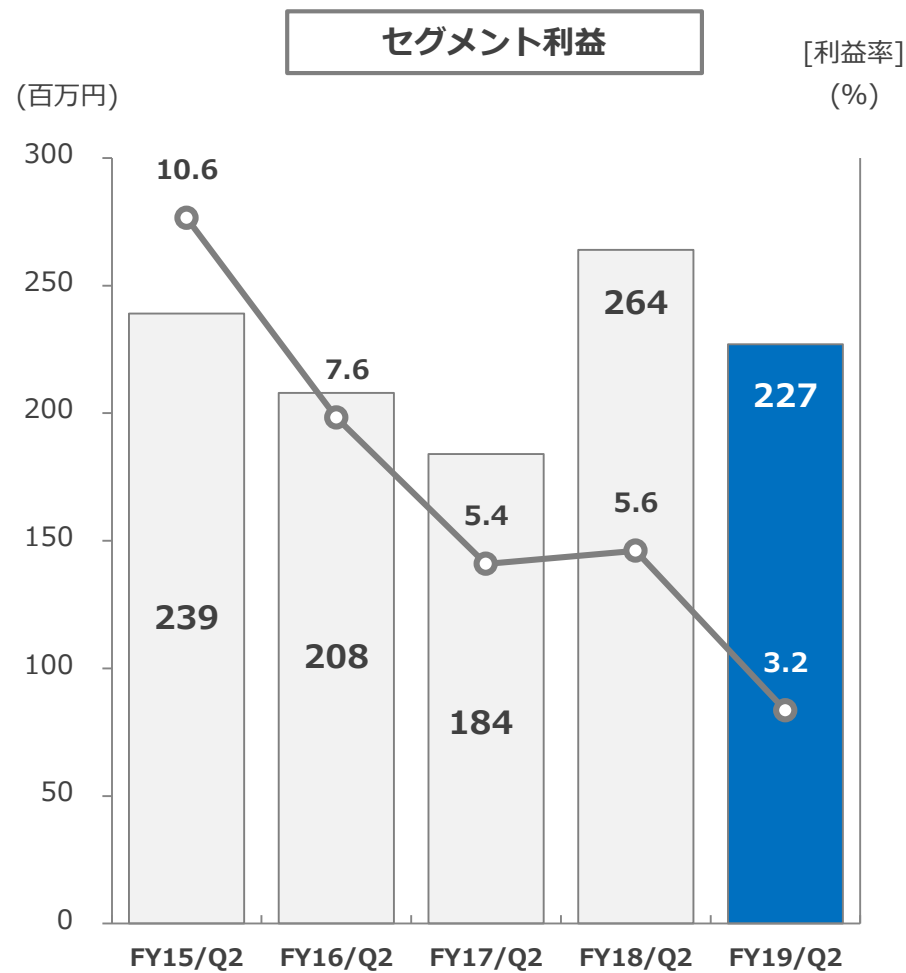
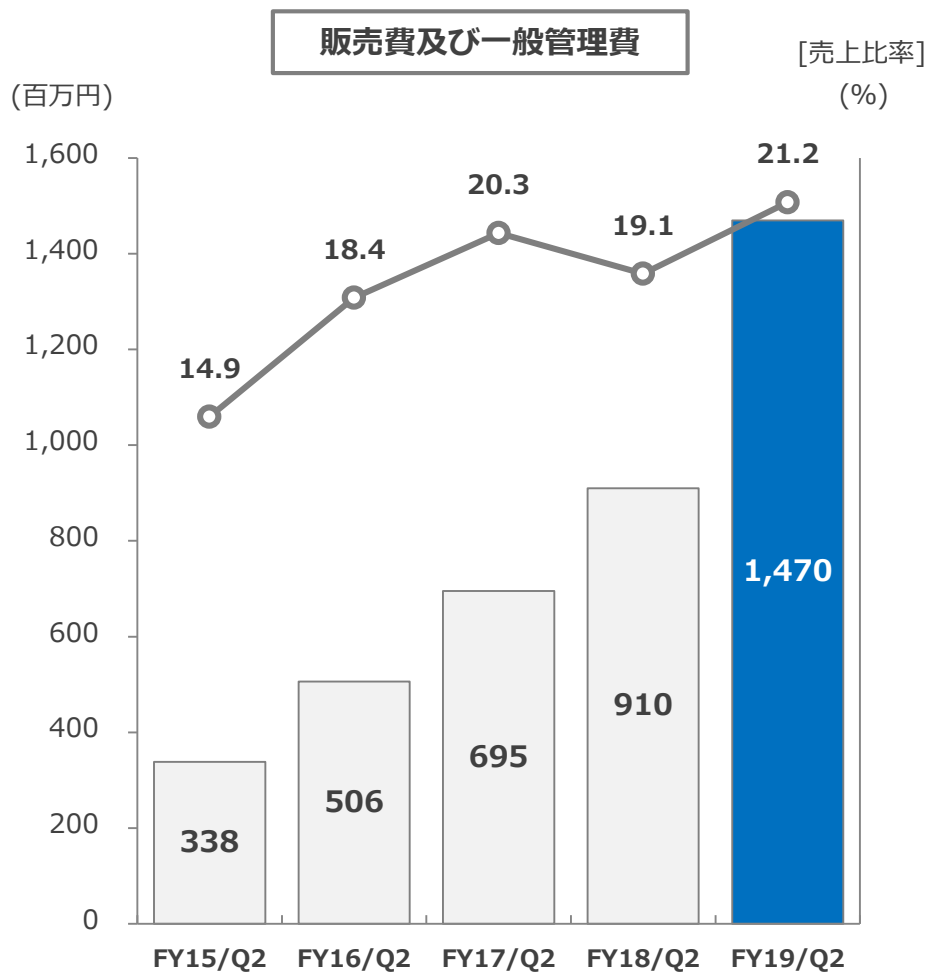
	FY18/Q2	FY19/Q2	増減額	摘要
販売費及び一般管理費	910	1,470	+560	
人件費	430	666	+236	営業員および人材管理部門の増員による増加
広告宣伝費	2	12	+10	
採用費	273	482	+208	積極採用による増加
業務委託費	19	37	+18	
販管费率	19.1%	21.2%	+2.1pt.	

※ 人件費 = 給与及び手当 + 旅費及び交通費 + 賞与 + 法定福利費 + 福利厚生費 + 退職給付費用 (役員含まず)

販管費・セグメント利益

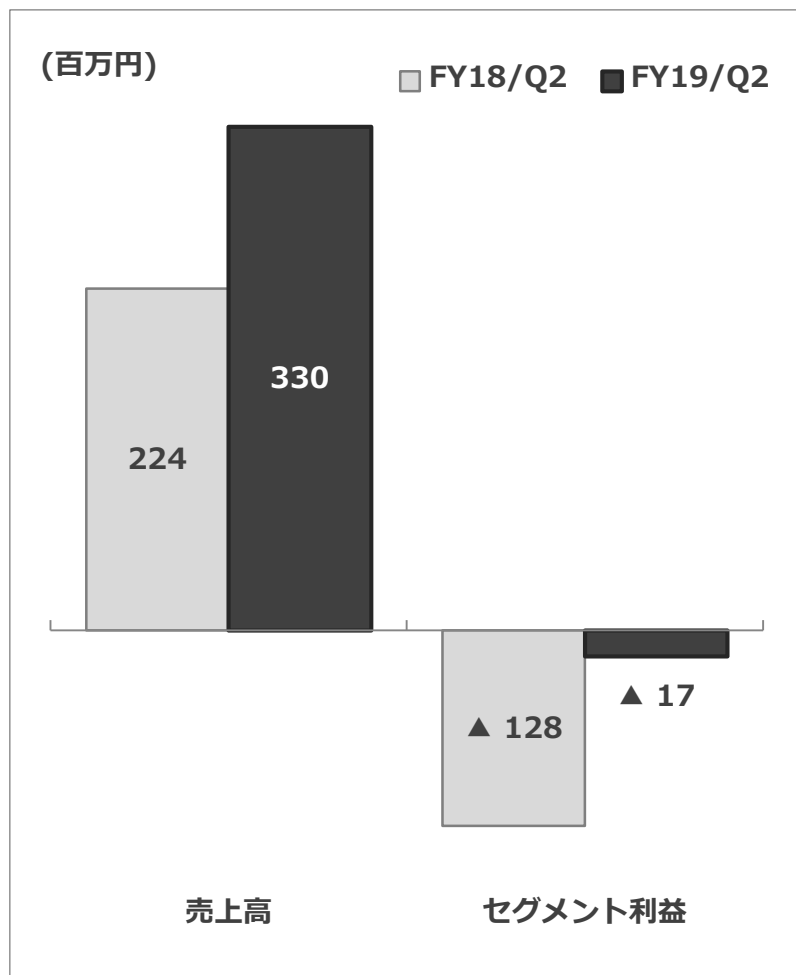


- 販売費及び一般管理費 ⇒ 期初計画どおり人件費及び採用費増加 +62%
- セグメント利益 ⇒ 稼働人数増加により採用費増加こなし利益計上 ▲19%



その他事業

- 不採算子会社の整理進む
- IT関連事業はネットワーク器機の販売レンタル事業連結で黒字化



1. 人材紹介事業

(百万円)

	FY18/Q2	FY19/Q2	増減
売上高	94	80	▲14.5
セグメント利益	1	▲66	—

・国内事業は吸収合併 → 海外人材活用に特化で投資フェーズ

2. 教育関連事業

(百万円)

	FY18/Q2	FY19/Q2	増減
売上高	57	8	▲85.2
セグメント利益	▲116	▲7	—

・事業縮小 → 吸収合併で撤退

3. IT関連事業

(百万円)

	FY18/Q2	FY19/Q2	増減
売上高	74	218	+194.1
セグメント利益	▲13	28	—

・不採算子会社売却 → NW器機の販売レンタルで黒字へ

※その他、セグメント間取引による連結消去がございます。

2019年9月期
業績見通し

2019年9月期 連結業績予想



グループ

(百万円)

	FY2018 実績	FY2019 通期予想	増減率	Q2実績	進捗率
売上高	40,419	50,000	23.7%	24,510	49.0%
営業利益	5,186	6,000	15.7%	2,683	44.7%
経常利益	4,940	6,000	21.4%	2,672	44.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,635	4,100	12.8%	1,750	42.7%
EPS	48.75円	54.98円	12.8%	22.34円	40.6%

2019年9月期 セグメント別業績予想

(百万円)

1. 建設技術者派遣事業	FY2018 実績	FY2019 予想	増減率	Q2実績	進捗率
売上高	29,609	36,000	21.6%	17,282	48.0%
セグメント利益	4,980	6,000	20.5%	2,955	49.3%
採用人数	2,764	2,800人	1.3%	1,603人	57.3%
期末在籍人数	5,066	5,900人	16.5%	5,704人	96.7%

2. エンジニア派遣事業	FY2018 実績	FY2019 予想	増減率	Q2実績	進捗率
売上高	10,380	13,000	25.2%	6,933	53.3%
セグメント利益	442	0	—	227	—
採用人数	1,118	1,800人	61.0%	706人	39.2%
期末在籍人数	2,414	3,400人	40.8%	2,838人	83.5%

組織再編 吸収合併



グループ

- 事業効率化のため夢真HDと夢エージェントが合併
- その他事業を海外人材活用事業に特化

[FY18/Q1]

報告セグメント	会社名
建築技術者派遣	夢真ホールディングス
エンジニア派遣	夢テクノロジー クルンテープ ネプラス Centurion Capital P3OPLE4U
その他 (人材紹介)	夢エージェント
(海外関連)	夢グローバル YUMEGLOBAL PHILIPPINES YUMEGLOBAL VIETNAM YUMESHIN VIETNAM
(教育関連)	建設資格推進センター

[FY19/Q2以降]

報告セグメント	会社名
建設技術者派遣	夢真ホールディングス ※夢エージェントを 6月1日付で吸収合併
エンジニア派遣	夢テクノロジー クルンテープ ネプラス Centurion Capital P3OPLE4U
その他 (海外人材活用)	夢グローバル YUMEGLOBAL PHILIPPINES YUMEGLOBAL VIETNAM YUMESHIN VIETNAM

海外人材活用事業に特化

新たなグループ企業①



グループ

株式会社インフォメーションポート

2019年4月2日子会社化
ITエンジニア派遣・ITシステムの受託開発

ハイクラスエンジニアが多数在籍

- ・ 100名以上のエンジニアを抱え、業界経験10年を超えたハイクラスエンジニアが3割
- ・ 毎年10名程度の新卒エンジニアを採用し育成する優れた研修ノウハウを保有

【直近の業績】

(百万円)

	FY2016	FY2017	FY2018
売上高	1,195	1,312	1,409
営業利益	26	4	41

新規参入の機会創出

若手エンジニアが主体の夢真グループにとって、IT業界における上流工程に参入する機会

研修強化

新卒研修のノウハウを活用で育成力の強化を目指す

グループシナジー

IP社にとっては、グループ800社以上の顧客基盤を活用し、エンジニア派遣および受託開発先の新規開拓を進める





Samurai 株式会社 侍

2019年4月24日子会社化
社会人向けプログラミング学習サービスを提供

自社メディア「侍エンジニア塾」の強み
・ 月間170万ユーザー超・520万PV超!!の**集客力**
・ 未経験でも始められる**指導力**

現役生	500名
月間サイト利用者	1,600,000名
累計指導実績※	16,000名

※レッスン、セミナー、オフラインなどのサービスを含む

集客力 → 採用強化

- ・ ノウハウを活用し採用媒体を強化
- ・ 受講者を対象とした新たな採用ルートの確立

指導力 → 研修強化

- ・ 既存エンジニアに対する研修プログラムを設計
- ・ 個人のレベルやキャリアプランに沿った形でスキルアップを図る

集客の増加 ← 夢真グループの顧客基盤と営業力

- ・ 受講者の就職先の確保により、集客を増加





neplus ネプラス株式会社

2018年10月1日子会社化 ITエンジニア派遣・IT機器の販売レンタル

- ・ CISCO製品を中心としたIT機器の販売レンタルとITエンジニア派遣事業を展開
- ・ 各製品に対する深い知識と高い技術力を持った優秀なエンジニアが80名以上在籍
- ・ 設計および開発分野の上流工程派遣がメイン

【直近の業績】

(百万円)

	FY2016	FY2017	FY2018
売上高	1,148	1,271	1,293
営業利益	147	68	182

新規参入の機会創出

若手エンジニアが主体の夢真グループにとって、IT業界における上流工程に参入する機会

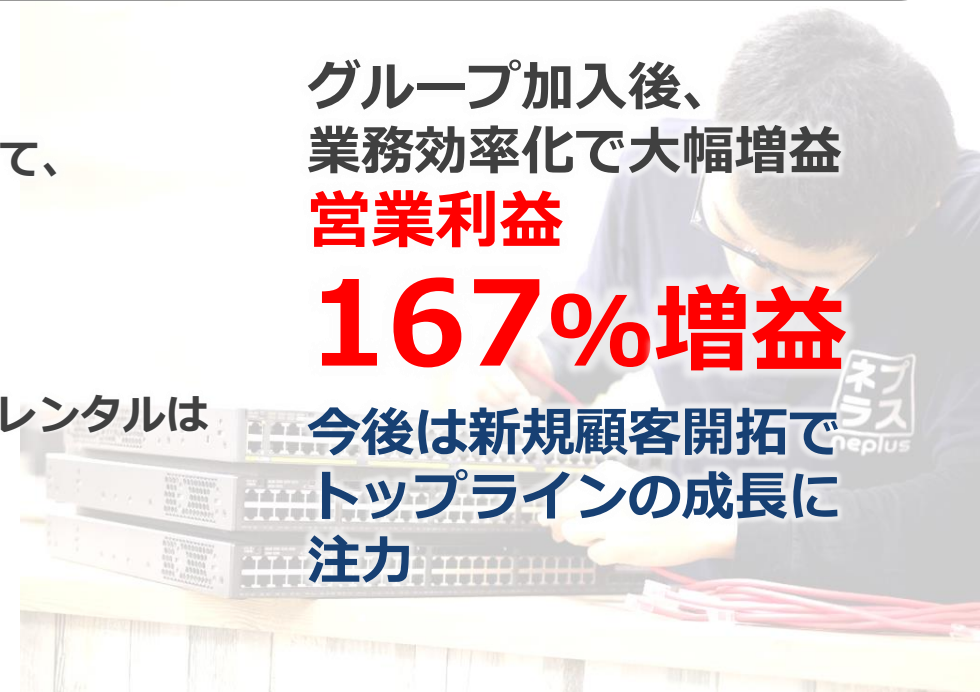
新事業で相乗効果

夢真グループに今までなかったIT機器の販売レンタルはエンジニア派遣とも相性抜群⇒販路拡大

グループ加入後、
業務効率化で大幅増益
営業利益

167%増益

今後は新規顧客開拓で
トップラインの成長に
注力



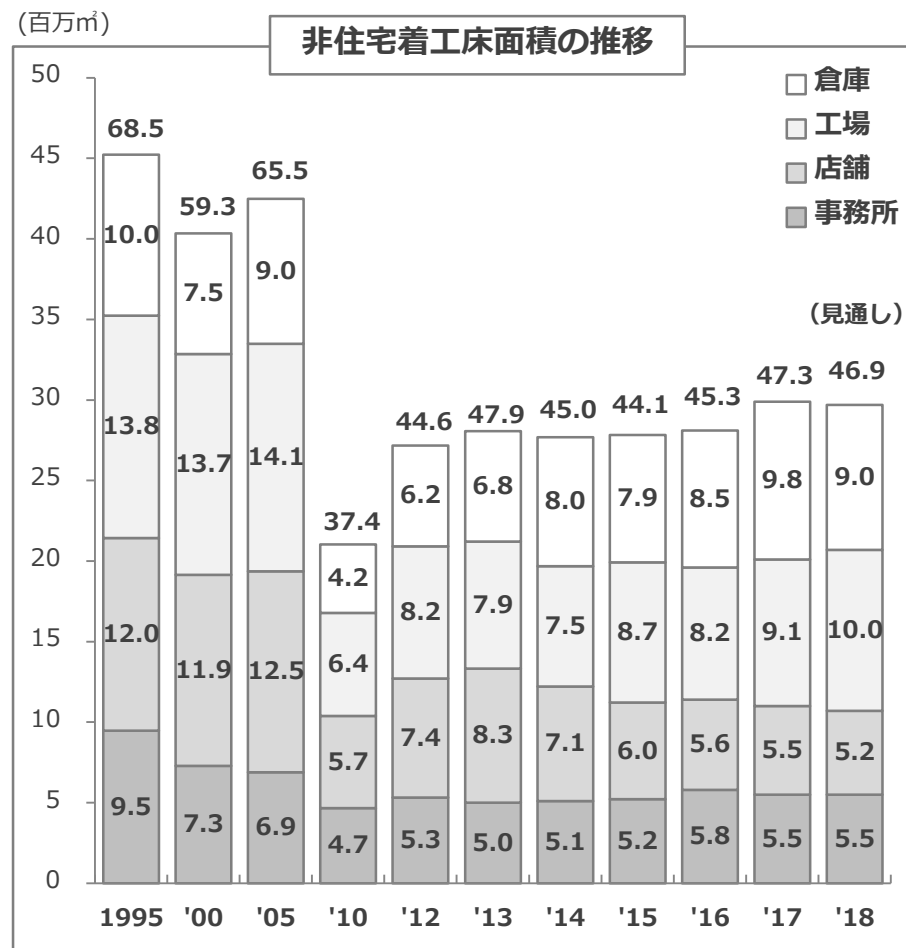
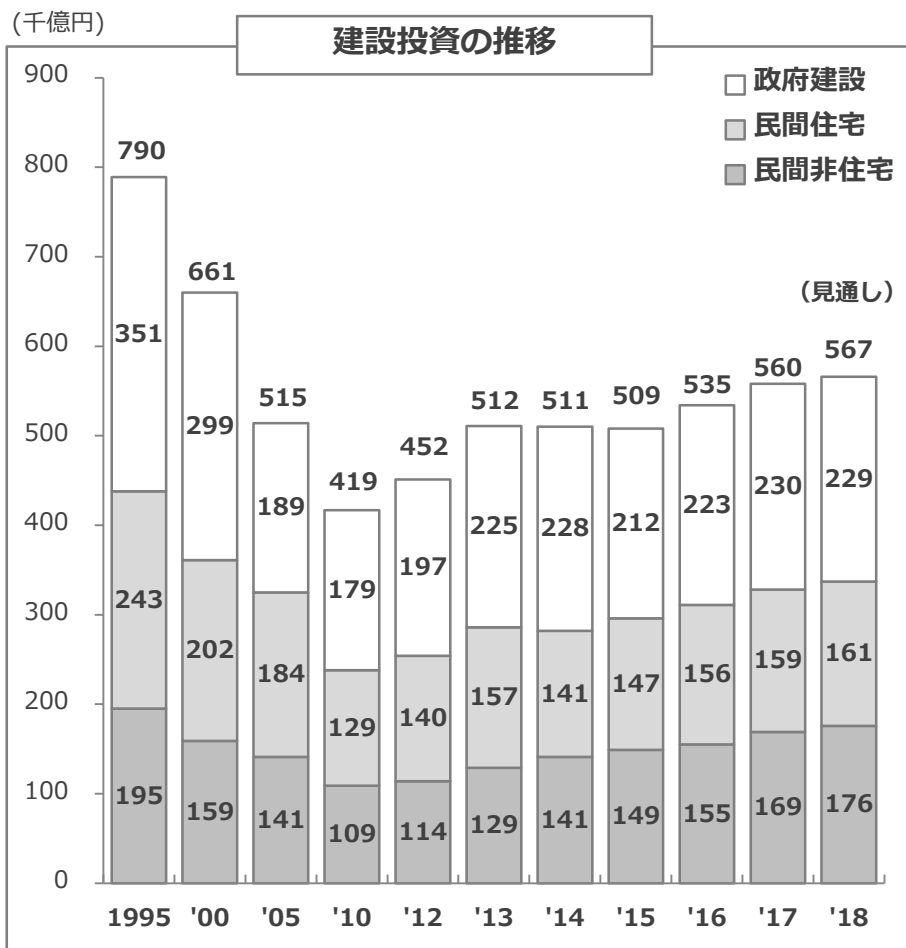
2019年9月期下半期

建設技術者派遣事業

外部環境①建設投資・非住宅着工床面積



- 建設投資は'10年を底に増加傾向 → 政府建設は波があるが民間投資は堅調
- 企業の収益改善・製造業の生産増強 → '10年と比較し34%増加見通し

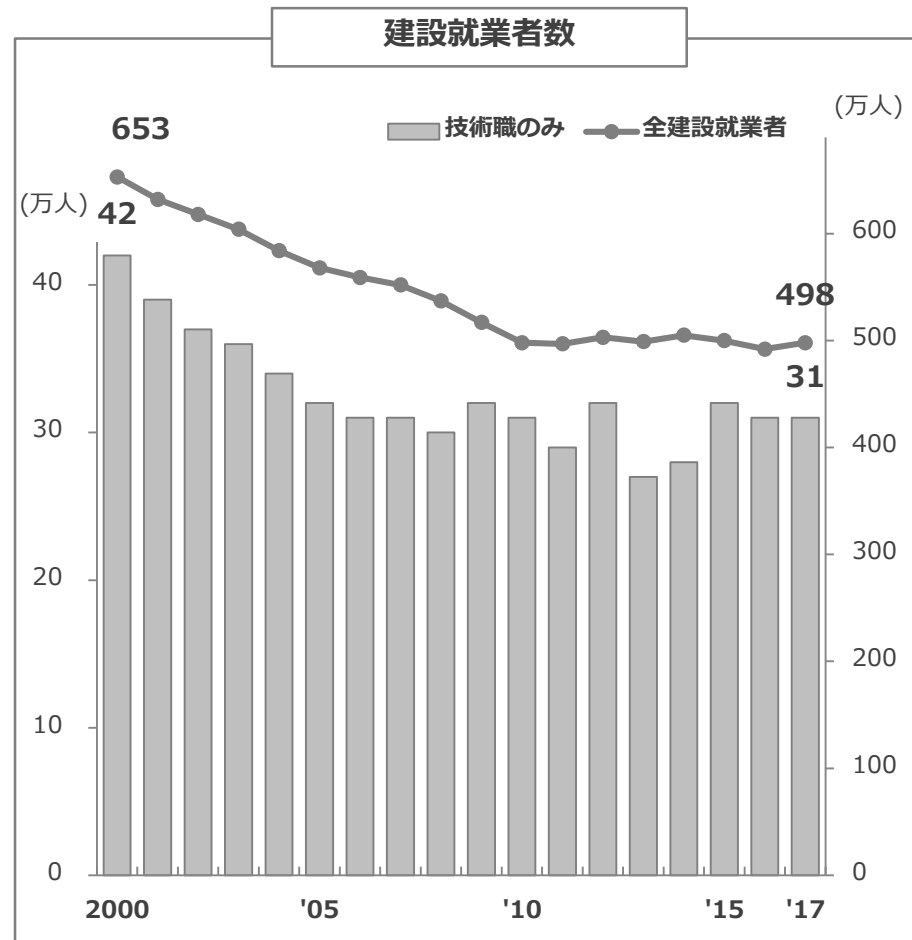
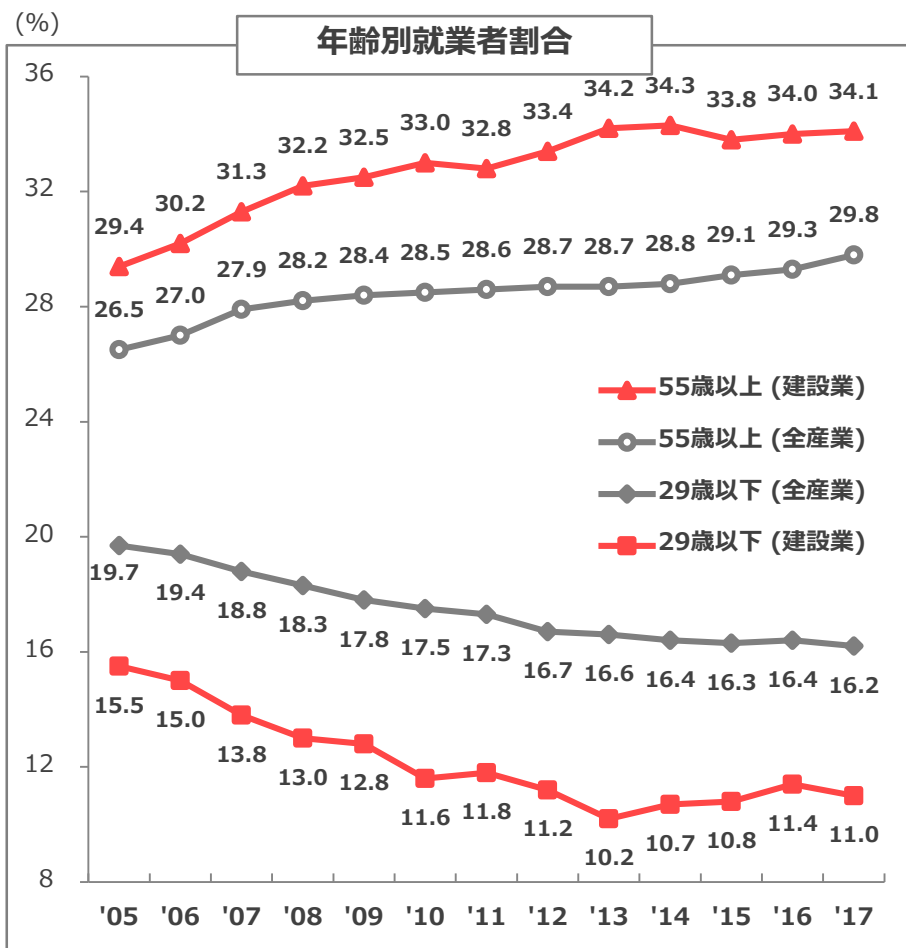


出典：財団法人建設経済研究所「建設経済モデルによる建設投資の見通し」(2019年4月24日)

外部環境②年齢別割合・就業者数



- 建設業は全産業と比較し高齢化が進んでいる → 3人に1人が55歳以上
- 建設就業者数は15年で200万人減少、技術職も15万人減少



出典：総務省「労働力調査年報」

外部環境③ 大手建設業従業者数



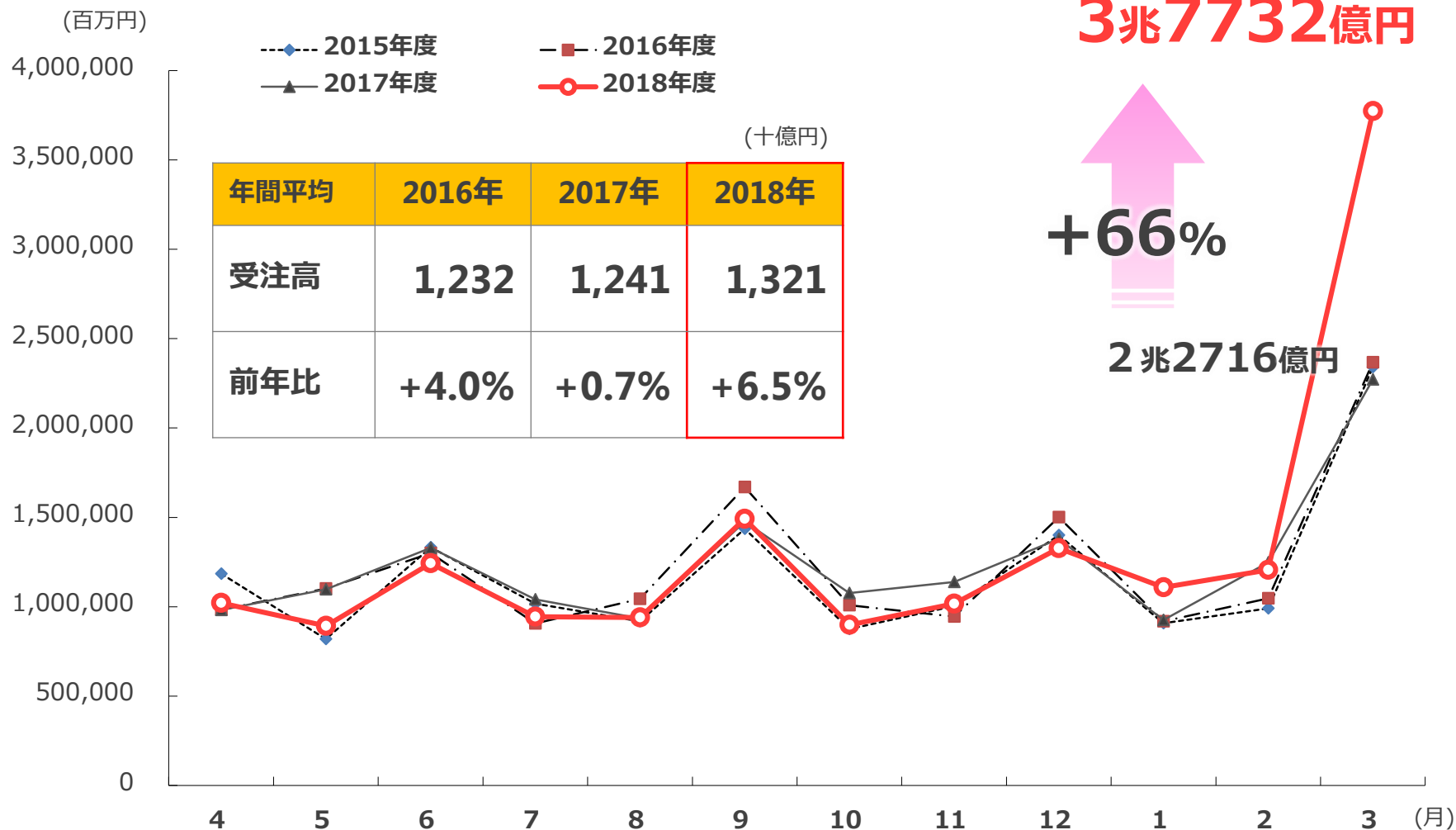
- 大手建設業従業者はピーク時より約10万人減少
- 派遣従業者は東日本大震災後 約40%増加 → 新規採用を抑制し派遣を活用している



出典：国土交通省「建築業活動実態調査」（調査対象企業＝大手建設業者55社程度）



■ 足元の3月度は過去4年と比較しても大幅な増加



出典：国土交通省「建築業活動実態調査」（調査対象企業＝大手建設業者55社程度）



首都圏で2000年代より老朽オフィスビル等の新陳代謝が進む丸の内・大手町・汐留・豊洲・品川・渋谷などで再開発が活況
鉄道関連は大阪を中心として2020年以降に大幅増予定

首都圏再開発プロジェクトの一部

■ OH-1計画(仮称)

竣工：2020年2月末(予定)

所在地：東京都千代田区大手町一丁目2番

階数：A棟 地上31階/地下5階、B棟 地上39階/地下5階

用途：オフィス、店舗、多目的ホール、ホテル、駐車場

■ 常盤橋街区再開発プロジェクト

竣工：A棟 2021年(予定)/B棟 2027年(予定)/

C棟 2027年(予定)/D棟 2022年(予定)

所在地：東京都千代田区大手町2丁目、中央区八重洲1丁目

用途：オフィス、店舗、駐車場など

■ 渋谷駅桜丘口地区再開発

竣工予定：2023年度

用途：事務所、店舗、住宅、生活支援施設、起業支援施設、教会、駐車場等

開業時期順の鉄道新路線・新駅リスト

2020年頃開業予定

北大阪急行線延伸計画、JR山手線・京浜東北線高輪ゲートウェイ駅、東京メトロ日比谷線虎ノ門ヒルズ駅、JR予讃線南伊予駅

2022年頃開業予定

相鉄・東急新横浜線、福岡市営地下鉄七隈線延伸(天神南～博多間)

2024年頃開業予定

大阪メトロ中央線夢洲延伸計画、JR京葉線幕張新駅

2025年頃開業予定

広島電鉄駅前大橋ルート・循環ルート

2029年頃開業予定

JR羽田空港アクセス線、大阪モノレール瓜生堂方面延伸計画

2030年頃開業予定

横浜市営地下鉄ブルーライン新百合ヶ丘方面延伸計画

2031年頃開業予定

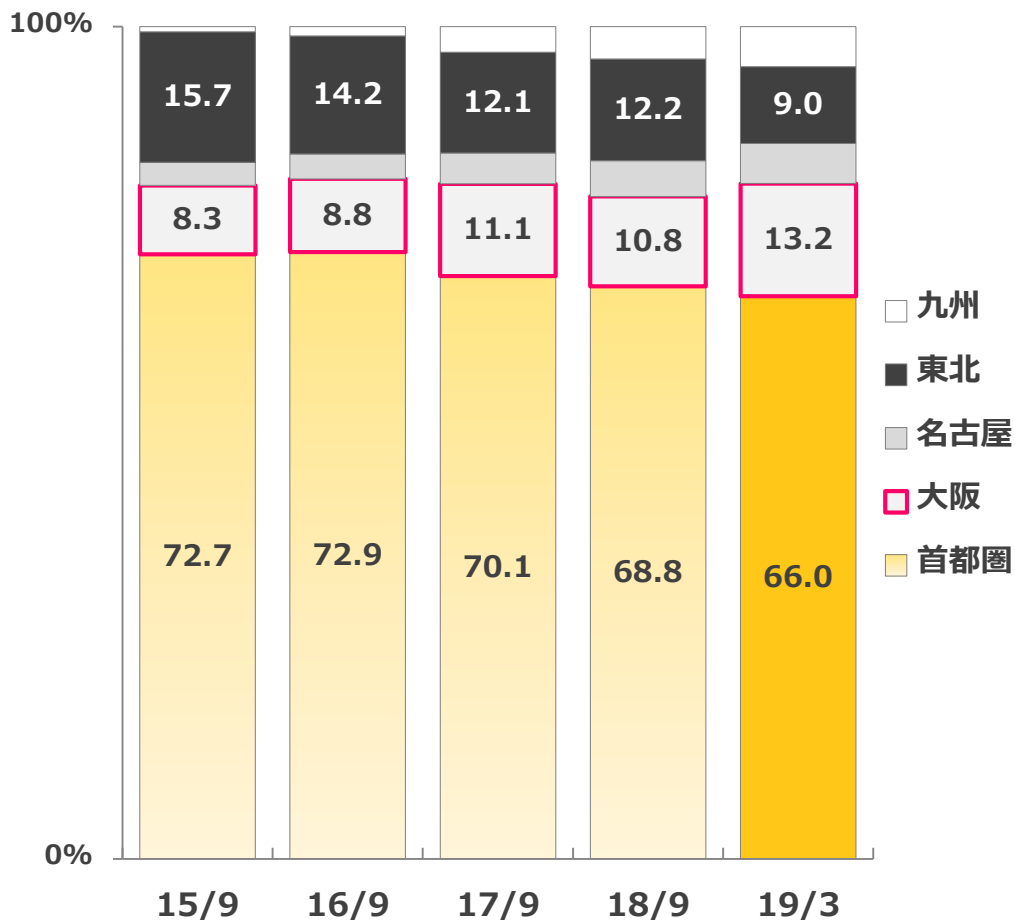
なにわ筋線

営業所別派遣割合



建設技術者派遣

- 割合低下も首都圏の需要は底堅い
- 大阪をはじめとした関西地方が活況に → 今後その勢いは加速する予想



大阪における今後の建設需要

1. 2025年 大阪万博開催予定
2. 大阪カジノ構想（IR施設）
3. 2045年 リニア中央新幹線開通（8年前倒しで進行中）

大阪万博による経済効果

来場者数 2,800万人

建設費など 2,000億円

運営費など 2,000億円

来場者の消費額 9,000億円

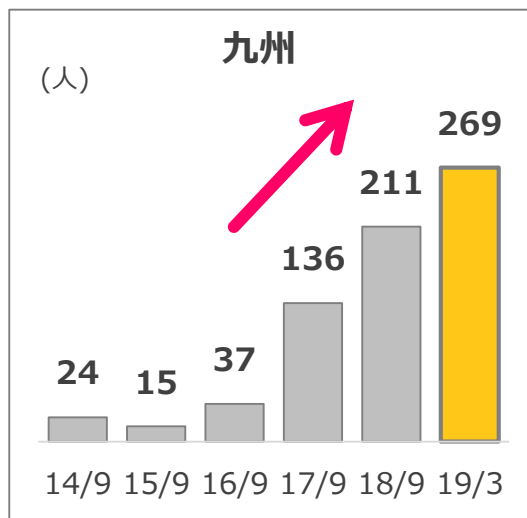
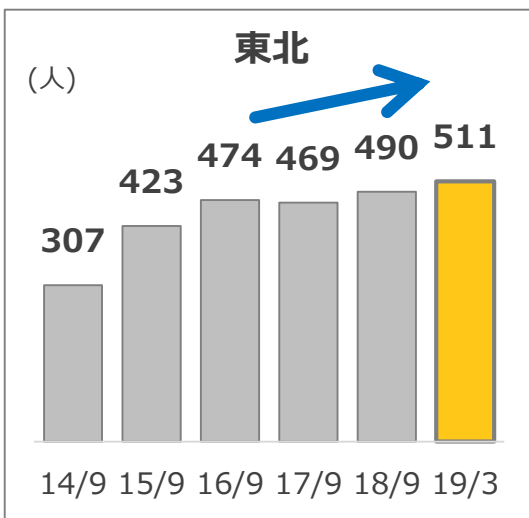
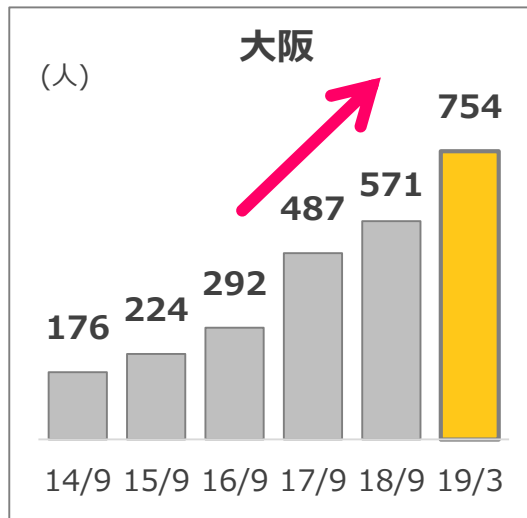
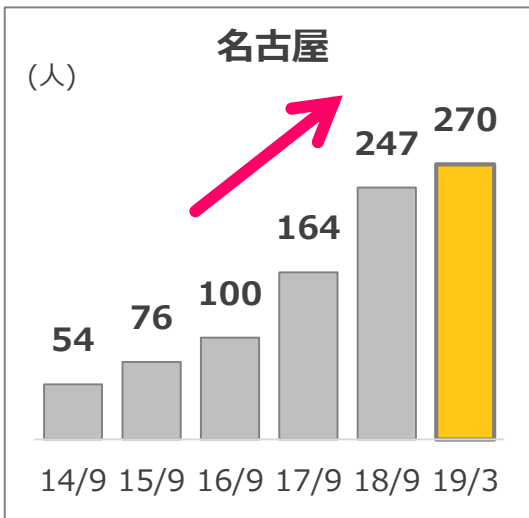
経済効果 2.2兆円

※りそな総合研究所試算

営業所別派遣人数



営業所別 技術者数の推移



外部環境

1. 中部・関西地方は積極的な需要開拓で堅調 → 今後は特に大阪
2. 東北地方は横ばい → 派遣需要はあるが現地採用が苦戦
3. 熊本での震災以降、九州地方への派遣人数が伸長



営業施策

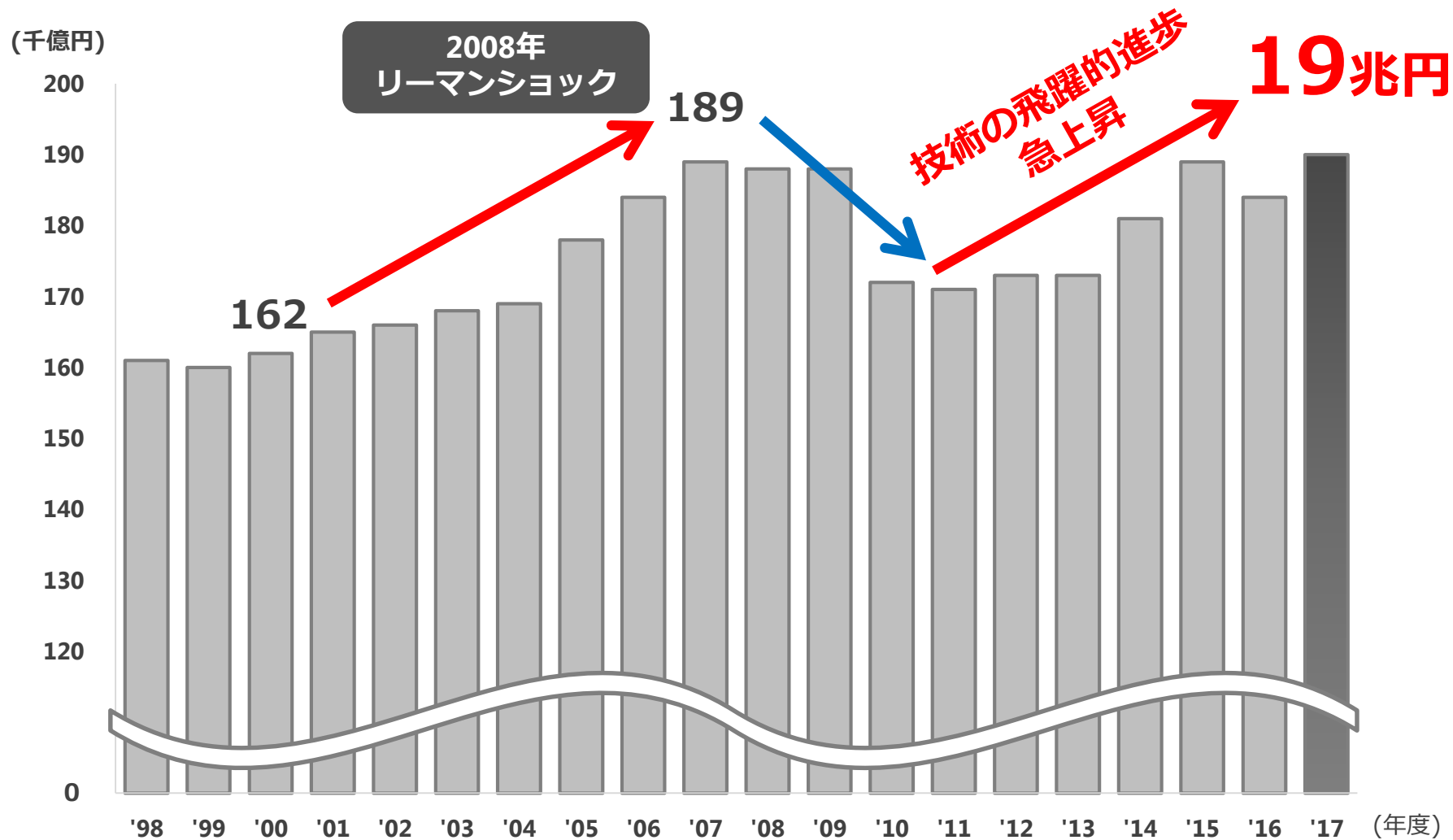
1. 派遣単価の引き上げ交渉を継続
2. 新規開拓とともに各ゼネコン地方支店への販路拡大
3. 一定の残業時間を見込める現場へシフト
4. 増加する地元で働きたいニーズに応えるための現地採用強化

エンジニア派遣事業

外部環境①国内研究開発費



- 加速する技術革新より研究開発費は再び上昇
- 企業による研究開発費は全体の約7割を占める

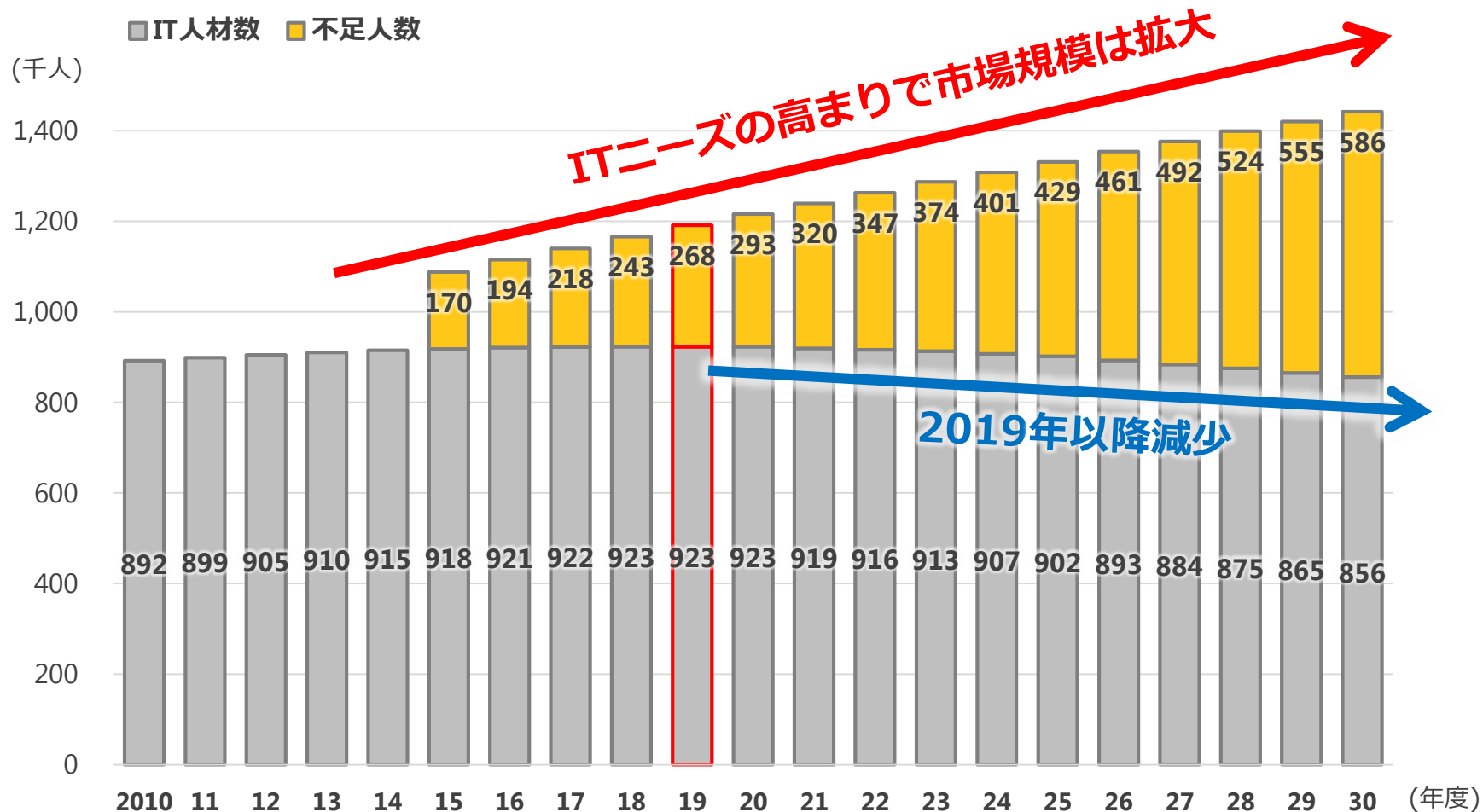


出典：総務省「科学技術研究調査結果」

外部環境②IT人材の不足規模推計



- IT供給人材は2019年にピークアウト
- 2030年には59万人不足する可能性





1

海外専門人材の採用

海外からの理系人材を積極的に採用し
コアなエンジニア領域への派遣に対応

2

エンジニアの自社創造

未経験者への教育により
新たなエンジニアを育成し
拡大するエンジニア需要へ対応



「外国人技能実習生」ではない 外国籍の理系エンジニアを積極採用

- 2019年度は年間**200**人採用予定
- テクニカルスタッフと比較し派遣単価が**25%**高い





世界各地に日本語学校を展開



効率的な日本語教育

×

ハイスキルエンジニア

両立しているのは夢真グループだけ!!

現在研修中の生徒数	82名
現在の研修可能キャパシティ	360名
今期増設予定キャパシティ	760名分増設
来期（2020年度）来日予定人数	1,000名



大崎 光村研修センター

東京都品川区大崎



名古屋 研修センター

愛知県名古屋市中区錦



大崎 イマス研修センター

東京都品川区大崎



南船場 研修センター

大阪府大阪市中央区南船場

国内エンジニアの研修内容



エンジニア派遣



ITスペシャリスト研修



CCNA研修



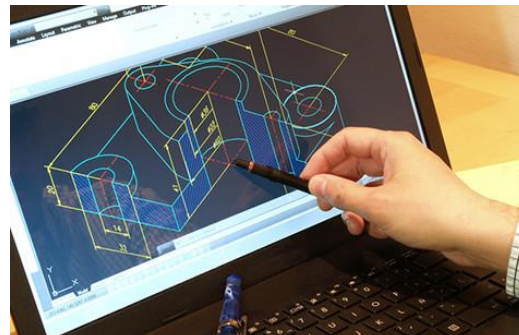
Java プログラミング研修



MOS研修



クラウド・サーバー研修



CAD研修



日本語研修

その他

- ビジネスマナー研修
- 上級者向け：Python研修、SWAD研修



高単価のハイクラスエンジニアへ



プロフェッショナルエンジニア集団、エンジニア教育プログラム

nepplus

 Samurai

 PROエンジニアなら「クルンテープ」
KRUNGTHEP

 Information Port

年間1,800人採用
教育・研修を委託



新規顧客の
紹介を依頼

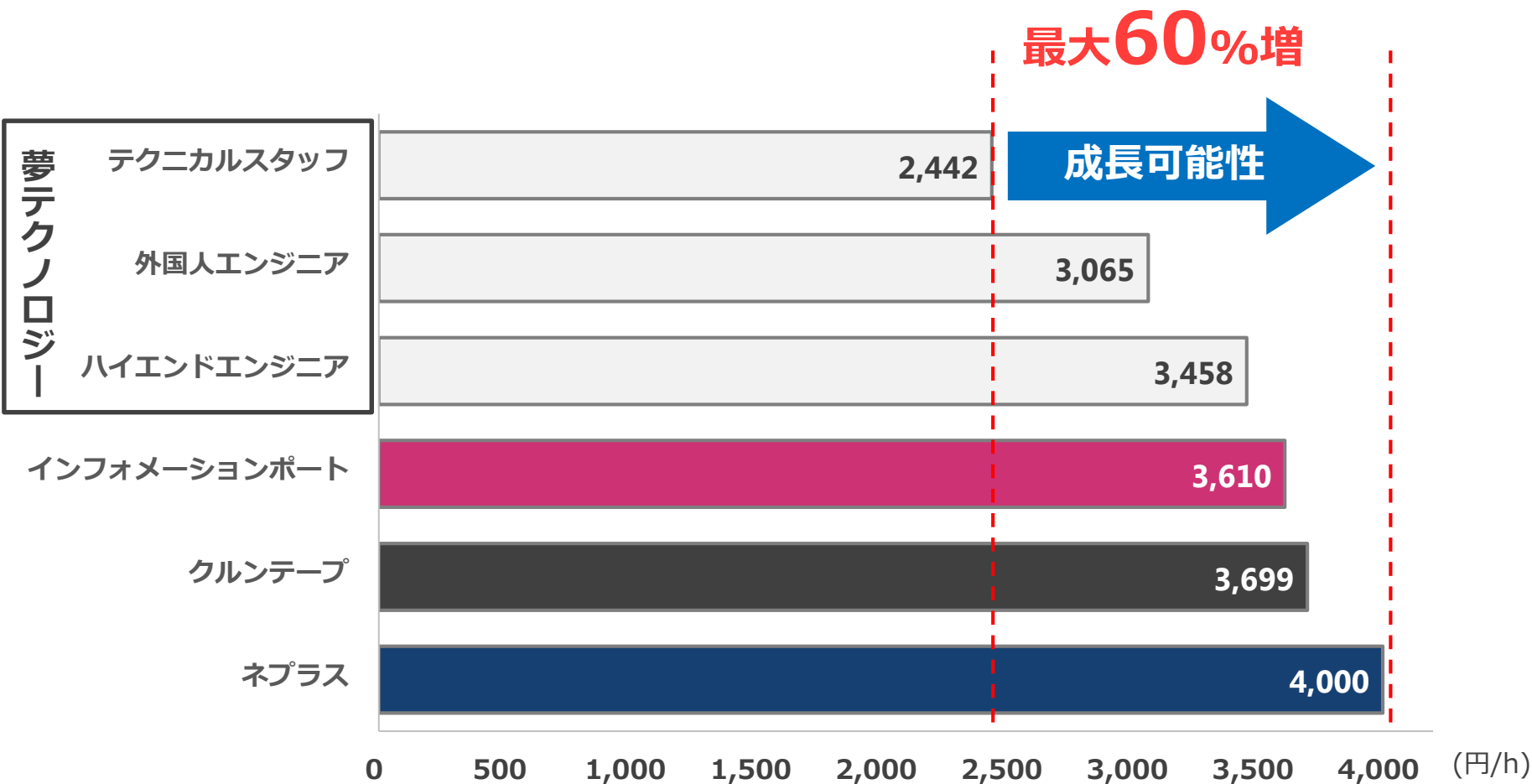


株式会社夢テクノロジー
YUME TECHNOLOGY CO.,LTD.

新人・未経験メイン、800社の顧客基盤



- テクニカルスタッフの研修によるキャリアステップを促進させ単価上昇を計画



経営戦略まとめ

経営戦略の詳細

1. 建設技術者派遣事業

- ・ 旺盛な需要に応えるべく積極投資で2,800人以上を採用
- ・ 継続的なフォロー施策と給与UPで定着率72%以上維持
- ・ 大阪をはじめとした地方営業所のさらなる活性化
- ・ 継続的な生涯研修で高付加価値へ

2. エンジニア派遣事業

- ・ エンジニア増員を最優先計画、純増1,000名超目標
- ・ 積極投資で1,800人以上を採用
- ・ グループ企業と連携した育成プログラム
- ・ 外国人エンジニアの積極採用
- ・ 採用規模に見合った、研修センターの拡張

3. その他事業

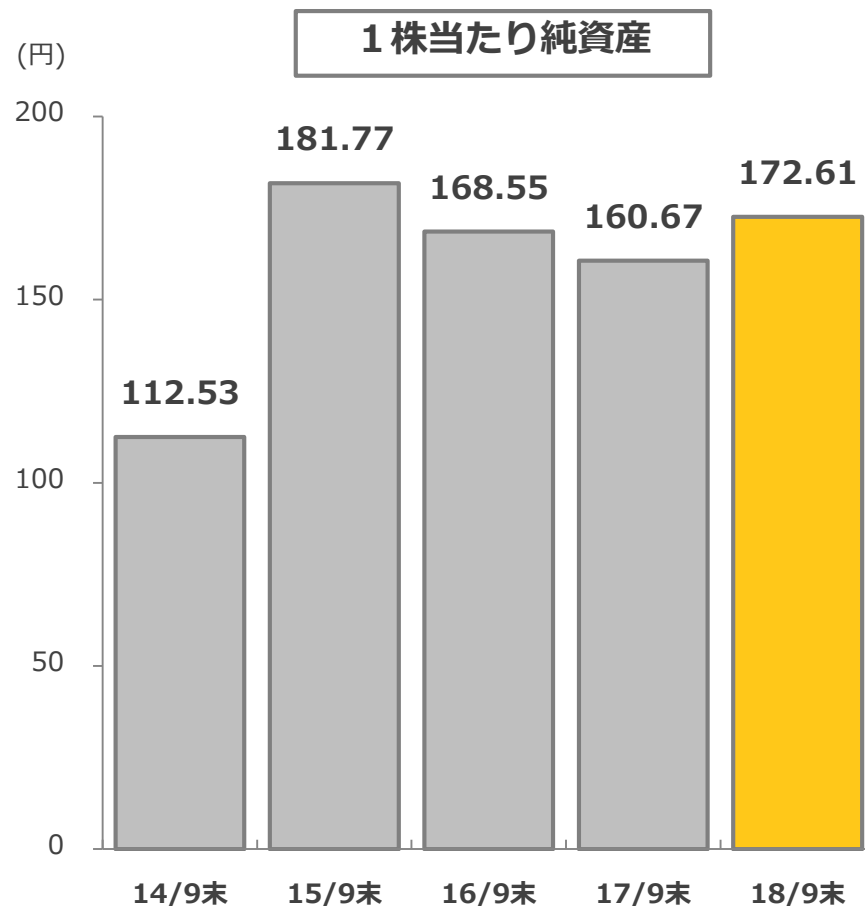
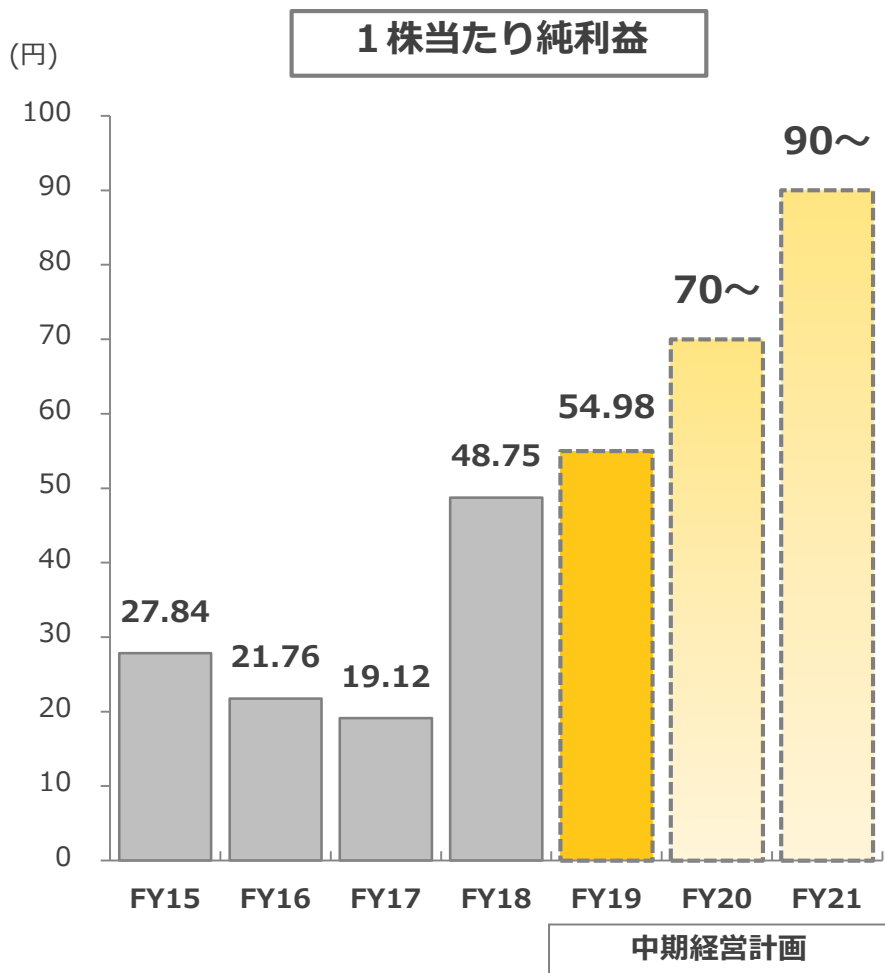
- ・ 外国人活用ビジネスの基盤づくり ⇒ 来期1,000人規模へ

株主還元

株主還元

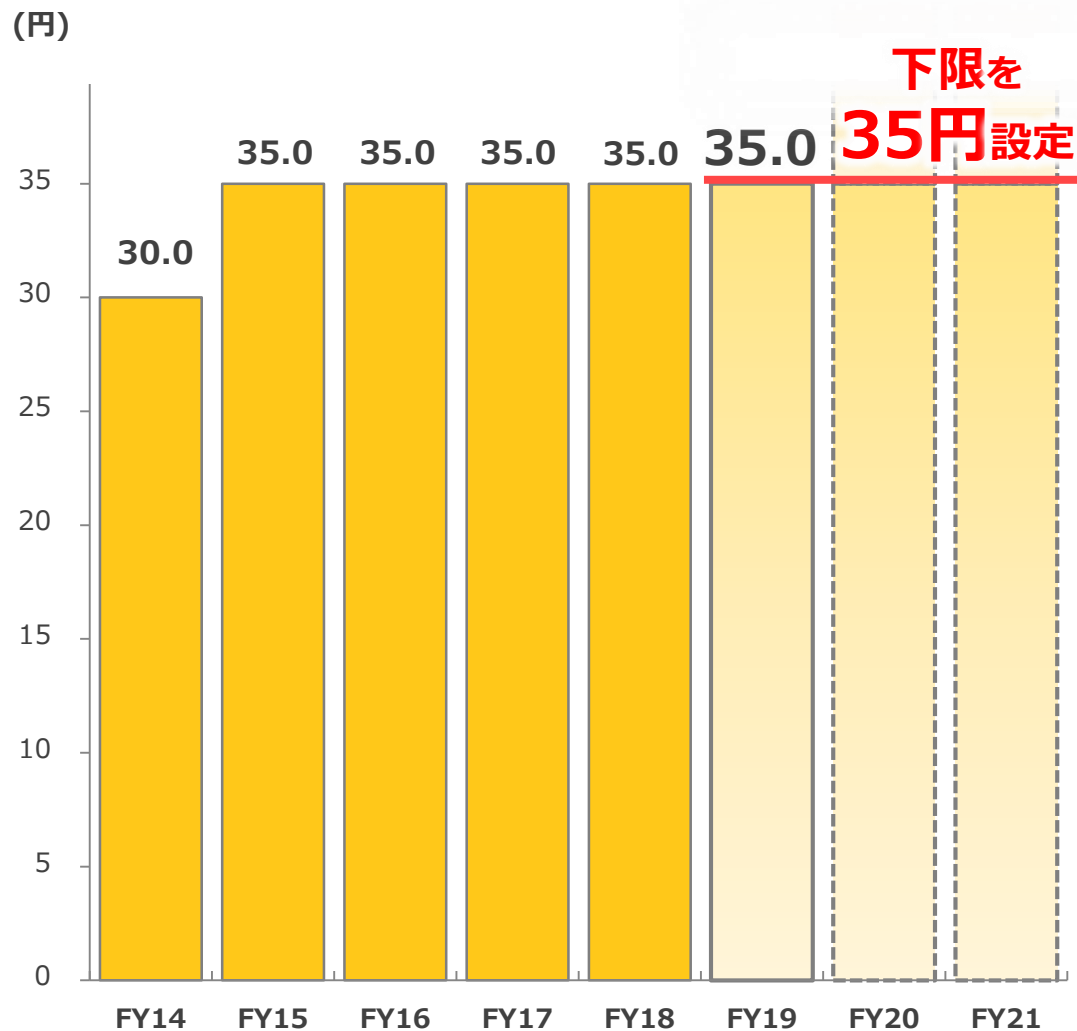
株主還元（1） 1株当たり純利益・純資産

■ 1株当たり純利益 ⇒ FY20以降エンジニア派遣が伸張で大幅増益予定



- ※ 1. 1株当たり純利益 = 当期純利益 ÷ 期中平均株式数 × 100
2. 1株当たり純資産 = 自己資本 ÷ (発行済株式総数 - 期末自己株式数) × 100

株主還元（2） 1株当たり配当金



中期経営計画

安定配当で 積極投資

EPSの増益分を機動的に活用

1. M&Aなどの再投資
2. 自己株式取得
3. 増配

株主還元（3）自己株式の取得

機動的な資本政策の遂行のため

(1)	取得し得る株式の総数	2,700,000株 (発行済株式総数に対する割合3.45%)
(2)	株式の取得価額の総額	20億円
(3)	取得期間	2018年12月20日～2019年6月19日
(4)	取得方法	自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付


※ 発行済株式総数 = 78,352,197株 (2019年3月31日現在)

総還元性向 115.7%
(剰余金の配当+自己株式の取得)

株主還元（４） 同業他社比較

成長性・収益性・株主還元すべての指標で上位もPERはワースト1

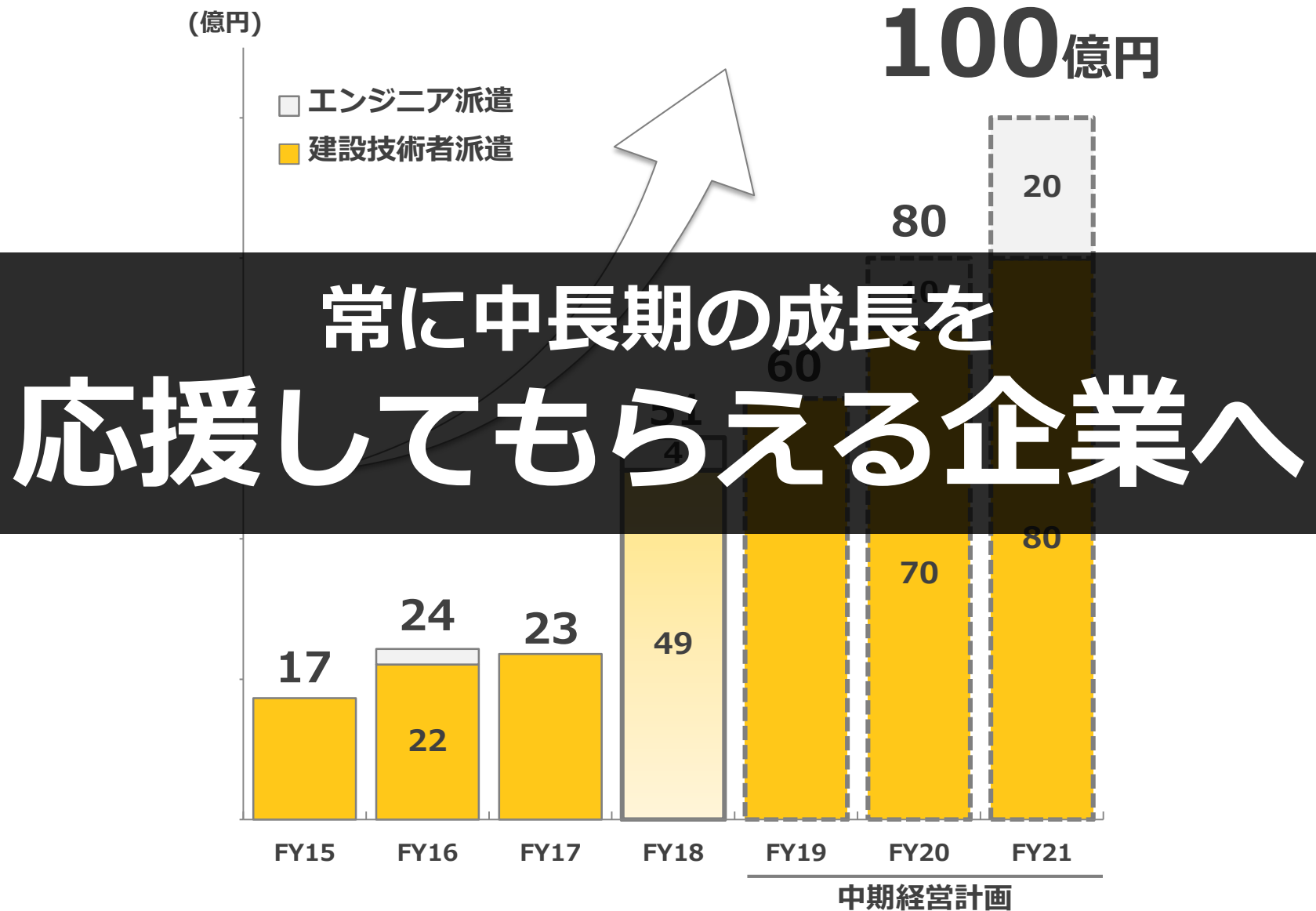
企業名	売上高成長率	営業利益率	ROE	配当利回り	PER (倍)
夢真HD	32%	12.8%	29.3%	4.92%	13.51
テクノプロHD	16%	9.6%	24.5%	1.98%	24.51
メイテック	4%	12.2%	20.9%	3.45%	17.51
トラストT	52%	6.6%	25.5%	1.78%	20.87
UTグループ	42%	6.4%	48.6%	0%	16.76

 = 1位

 = 2位

※ 1. 売上高成長率、営業利益率、ROE = 各社直近事業年度の決算資料より当社作成
 2. 配当利回り、PER = 2019年5月22日現在

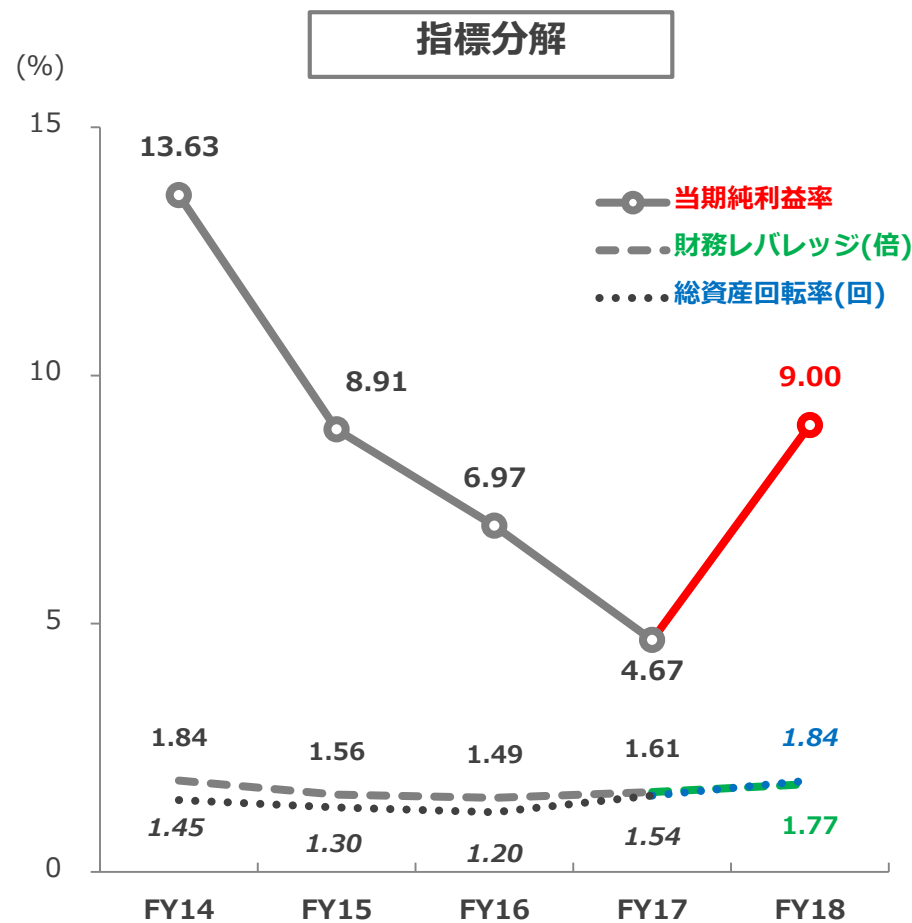
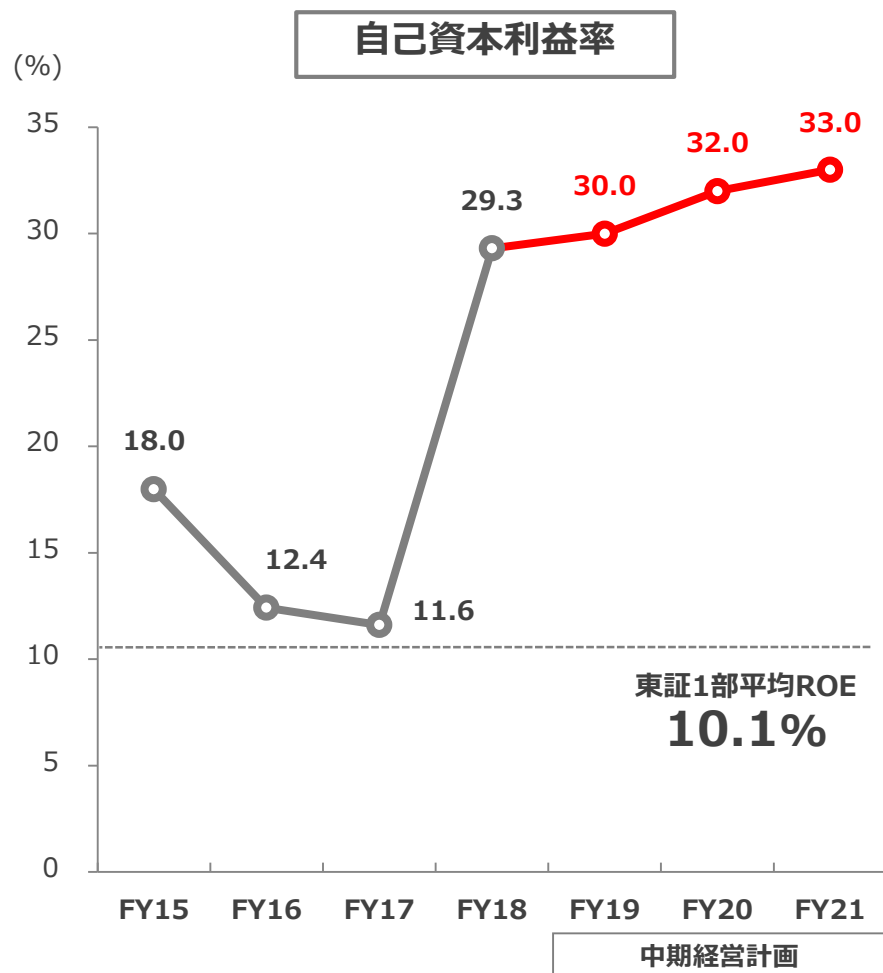
連結営業利益の計画



ご参考

ご参考 (1) 自己資本利益率 (ROE)

■ 利益率の改善と高配当+再投資による資産回転率の向上で30%水準を維持



- ※ 1. 自己資本利益率 = 当期純利益 ÷ 自己資本(期中平均) × 100
 2. 財務レバレッジ = 総資産(期中平均) ÷ 自己資本(期中平均)
 3. 総資産回転率 = 売上高 ÷ 総資産(期中平均)

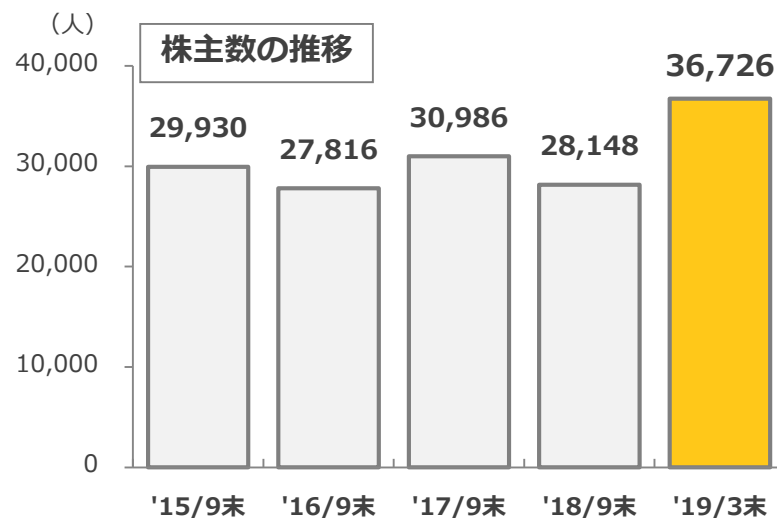
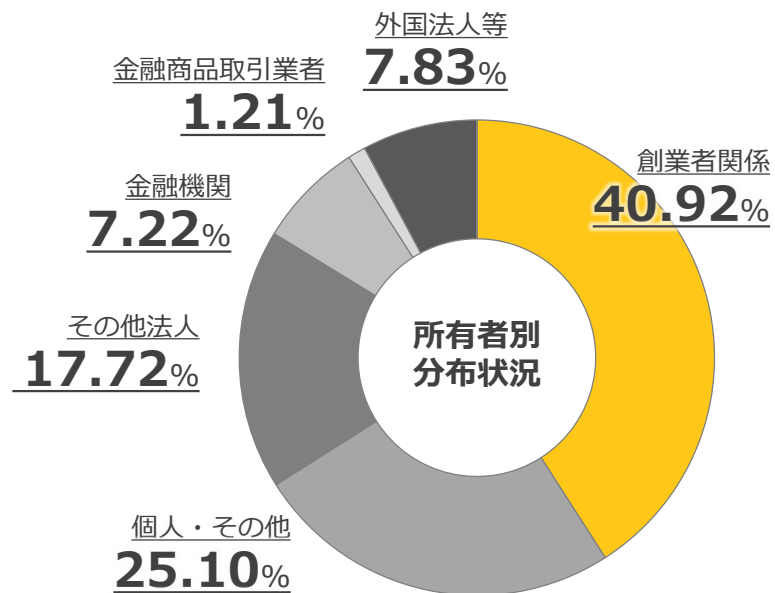
4. 中期経営計画におけるROEは毎期35.0円配当にて算出

ご参考 (2) 株式の状況

2019年3月31日現在

	株主名	所有株式数 (千株)	所有割合 (%)
1	佐藤 真吾	18,425	23.51
2	佐藤総合企画	12,944	16.52
3	Japan Trustee Services Bank	3,426	4.37
4	深井 英樹	1,010	1.28
5	The Master Trust Bank of Japan	776	0.99
6	佐藤 淑子	688	0.87
7	J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A.	602	0.76
8	BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	575	0.73
9	Trust & Custody Services Bank	547	0.69
10	BNY FOR GCM CLIENT ACCOUNTS (E) BD	441	0.56
大株主上位10名合計		39,434	50.28

※ 発行済株式総数=78,352,240株
自己株式数=89,281株



人と人とのめぐりあいで みんなの夢を真にする





YUMESHIN

免責事項

本資料は、資料作成者が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、当社および資料作成者はこれらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。情報が不完全または要約されている場合もあります。本資料に記載する価格・数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予想値であり、実際とは異なる場合もございます。

本資料は将来の結果をお約束するものではありませんし、資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社および資料作成者が責任を負うものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



JASDAQ

[お問い合わせ]

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング 22F

株式会社 夢真ホールディングス IR室

TEL: 03-3210-1212 FAX: 03-3210-1209

Mail: ir@yumeshin.co.jp